

# 令和元年度 施策評価シート

## 1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策体系	分野	09 教育 ~地域の絆で育む学びのまち~					
	施策	38 社会教育 - 温もりある人と地域を育む学びを推進します -					
重点プロジェクト		次代を担う子どもを育むプロジェクト					
主管課	教育部 社会教育課	評価責任者				皆川 恒晴	
		評価日				令和元年5月29日	
関連課	子育て支援課						
目標	社会教育施設は、市民の学習活動の拠点として市民の学びを支え、地域のコミュニティ形成、学習機会の充実を図ります。放課後の子どもたちの安全と安心な居場所づくりに向けて、放課後子ども事業の活動を充実します。						
施策目標の実現に向けた取組	<p>(1) 社会教育活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の課題などを解決するための学習支援や学習の場を提供します。</li> <li>○市民の自主的な文化活動の発表の場、交流の場としての各種事業の充実を図ります。</li> <li>○生涯学習を推進するため、地域の課題の講座などを開催し、地域に還元できる仕組みを支援します。</li> <li>○社会教育関係団体の支援・育成を推進します。</li> </ul> <p>(2) 放課後子ども事業の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○放課後子ども総合プランに基づき、地域の協力の下、放課後児童クラブとの連携を進めます。</li> </ul>						

## 2. 施策指標と達成状況

網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策 目 標	指標 1	指標名	図書貸出人数					
		説明	図書館の延べ貸出人数。市民ニーズに対応した施設サービスを提供する指標となるため。					
		単位	人					
	活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	243,000	246,000	249,000	252,000	255,000	258,000
		実績値	229,628					
	指標 2	指標名	公民館利用者数					
		説明	公民館利用者延べ人数。市民ニーズに対応した施設サービスを提供する指標となるため。					
		単位	人					
	活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	282,400	285,800	289,300	292,900	296,400	300,000
		実績値	275,102					
	指標 3	指標名	資料館入館者数					
		説明	資料館の展示などの入館者数の延べ人数。市民の歴史文化に対する周知や意識の高揚を図る指標となるため。					
		単位	人					
	活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000
		実績値	16,287					
指標 4	指標名							
	説明							
	単位							
活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							
指標 5	指標名							
	説明							
	単位							
活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値							
	実績値							

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支出	事務事業費	295,509	273,799	416,870			
	人件費	212,845	199,317	144,900			
収入	特定財源	29,683	3,000	13,854			
	一般財源	478,671	470,116	547,916			

4. 評価対象年度の施策実施内容

網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する取組です。

		実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組	高齢者大学事業統合準備委員会の開催	これまで高齢者大学を実施していなかった上福岡西公民館を加え、公民館3館が一体化した事業内容で新たな大学をスタートさせるため、各大学受講生等代表者からなる準備委員会を5月に立ち上げ6回に及ぶ検討を行なった。	令和元年度から「ふじみ野市昭和100年大学」とし、公民館3館が一体化した事業内容でスタートすることができた。 大井中央公民館 1学部2学科 上福岡公民館 1学部3学科 上福岡西公民館 1学部2学科	大井中央公民館高齢者教育事業 上福岡公民館高齢者教育事業
取組	市民の自主的活動の支援	にほんご教室は、平成6年にスタート。日本人スタッフ（ボランティア）の自主学习による内部研修が毎年開催されている。公民館では活動を支援するためのボランティア講座を11月11日に開催した。	にほんご教室 開催数98回、学習参加者数のべ1,139人、スタッフ参加数のべ1,195人、学習参加者国籍数21か国、学習参加者外国人数101人。 スタッフ（ボランティア）数36人 スキルアップ研修参加人数13人 ボランティア講座参加者数20人	上福岡西公民館成人教育事業の一部
取組	小学校放課後事業推進検討会	放課後子ども総合プランに基づく放課後児童クラブとの一体化の活動に向けた、「学校、放課後子ども教室、放課後児童クラブ」（3者）による「小学校放課後事業推進検討会」を各校学期に1回を目標に開催した。	小学校放課後事業推進検討会の方針に基づき各校プログラムを作成し、放課後子ども教室、放課後児童クラブが一体化した活動を行うことができた。	放課後子ども教室推進事業
取組	図書館ボランティア育成講座の開催	幼稚園や小学校で集団の子どもたちに絵本の読み聞かせをされている方を対象に、初級読み聞かせ講座を開催した。 期間 1月～2月まで全3回 期間 10月17日	合計32名の参加があった。各講座を通して幼稚園・小学校で読み聞かせ活動をしている方々を育成し、地域での読み聞かせ活動の活発化と図書館資料の利用促進を図ることができた。	大井図書館奉仕事業の一部
取組	市民と関連団体との協働	文化財ウォーキング、福岡河岸記念館での解説事業、郷土の伝承遊びや社会科体験学習、成人体験学習等において、ボランティアとの協働事業を開催した。	ボランティアのアイデアによる企画や各種事業への協力、関連団体との協働の体制づくりに貢献した。また、市民が文化財と触れ合う機会や入館者数の増加につながった。	歴史民俗資料館教育普及事業の一部

5. 評価

評価	
指標の達成状況	社会教育活動の支援について、超高齢化社会に対応した学習の場と学び続けることができる学習環境づくりなどが喫緊の課題である。今年度は公民館高齢者大学の各受講生等代表者からなる準備委員会を立ち上げ、令和元年度に公民館3館であらたな大学の開校に向けた支援ができた。
行政資源の活用	また、市民の学習ニーズや課題解決等を支援するため、ボランティア講座の開催、体験活動の機会提供を行なった。
取組の有効性	実施している個々の事業は学びを通じたひとつづくりなどその成果をすぐに評価することは難しいものが多いが、誰もがいつでもどこでも学ぶことが出来るよう、さらに社会教育の推進、充実を図っていく。
施策の効果	

# 令和元年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名		社会教育推進事業		前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	09 教育 ~地域の絆で育む学びのまち~			
	施策	38 社会教育 - 温もりある人と地域を育む学びを推進します -			
予算費目		一般会計 10教育費 04社会教育費 01社会教育総務費			
所管部課		教育部 社会教育課		評価責任者	永倉秀雄
事務事業期間		平成17年度~		評価日	令和2年7月3日
個別計画 根拠法令・条例等		教育基本法、社会教育法、ふじみ野市社会教育委員設置条例			
事務事業の内容	事務事業の目的	市民の生涯学習・社会教育の推進を図るため、社会教育の現代的課題に対し調査研究、教育長からの諮問を受け答申を行なうなど、地域や市民の現状・課題を把握し社会教育行政に反映させることで、地域の教育力の向上を目指す目的を持つ。			
	事務事業の経緯	昭和24年(1949年)6月10日法律第207号に制定された社会教育法に基づき、学校の教育課程として行われる教育活動を除き、主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動を推進することとして行われている。			
	事務事業の概要	定例会：年4回のほか、必要に応じ専門委員会を設置し、社会教育の推進をはかる。 委員構成：14名(学校教育・社会教育・家庭教育関係者、学識経験者、市民公募) 内容：教育委員会教育長諮問にかかる答申、社会教育関係団体の補助金審査、社会教育推進施策への調査研究、人間地区社会教育協議会活動、地域課題解決学習の調査研究等 社会教育委員は、上記を行い地域や市民の現状・課題を把握し社会教育行政に反映させることで、地域の教育力の向上を推進する。			
	令和元年度の主な取組	1 社会教育委員の会議及び専門部会 第1回定例会 日程 4/22(月) 16:00 ~ 18:00 第2回定例会 日程 6/27(木) 14:00 ~ 17:00 第3回定例会 日程 9/ 5(木) 16:00 ~ 18:30 第4回定例会 日程 9/26(木) 14:00 ~ 15:50 第5回追加定例会 日程 11/27(水) 14:00 ~ 16:00 第6回追加定例会 日程 2/13(木) 14:00 ~ 16:00 答申における専門部会(第1回~第5回)を開催			

## 2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.90	0.90	1.04
		人件費	7,287	7,181	8,298
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00	
	人件費	0	0	0	
人件費計		7,287	7,181	8,298	
事業費	報酬	388	452	528	
	賃金	0	0	0	
	需用費	286	78	331	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	201	250	225	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	130	130	132	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費	24	38	104	
支出合計		8,316	8,130	9,618	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		8,316	8,130	9,618	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		73	71	83	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

### 3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	教育長からの諮問・答申件数		
	説明	地域課題や市民の社会的課題に対する生涯学習・社会教育の役割について教育長の諮問に応じ、調査研究、答申を通し、行政施策の方針策定の土台とする。		
活動	単位	件		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	1	1	1
	実績値	1	1	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>これからの人生100年時代には、「高齢者から若者まで、全ての国民に活躍の場があり、全ての人が元気に活躍し続けられる社会、安心して暮らすことのできる社会をつくる必要」が求められている。その重要な鍵を握るのは地域課題解決学習であり、誰もが生涯にわたり必要な学習を行い、その学びの成果を個人の生活や地域での活動等に活かすことのできる仕組みの充実が必要である。今後、人口減少など社会の大きな変化の中にあつて、住民の主體的な参画による持続可能な社会づくり、地域づくりに向けて、生涯学習や社会教育活動はこれまで以上に役割を果たすことが期待されている。</p> <p>当該事業については、地域や市民の現代的課題を社会教育委員の視点で捉え、課題解決に向けた学習機会の提供や、地域貢献活動につながる人材育成等の調査・研究、提言等活動を通し、社会教育行政の活性化と地域の教育力の向上を図っている。令和元年度においても教育委員会教育長からの諮問に対する答申を行い、社会教育関連審議会へ答申内容の説明を行っている。</p> <p>実施内容及び効果については次のとおり。</p>
	<p><b>実施内容</b></p> <p>(1) 社会教育に関する諸計画を立案すること。  (2) 定時又は臨時に会議を開き、教育委員会の諮問に応じ、これに対して、意見を述べること。  (3) 職務を行うために必要な研究調査を行うこと。</p> <p><b>効果</b></p> <p>行政と市民のパイプ（橋渡し）的役割住民の意向を行政の施策運営へと反映することが出来る。  家庭・学校・地域をつなぐコーディネートの役割が果たせる。  家庭や地域の教育力向上のための直接的な貢献出来る。  地域での社会教育活動活性化のためのネットワークづくりを形成できる。</p>

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	<p>地域社会のつながりや支え合いの希薄化等による地域社会の教育力の低下や家庭教育の必要性が指摘されており、学校・家庭・地域との連携・協働が今後より一層求められる。</p> <p>社会教育委員の活動は、地域や市民の現代的課題を把握し、生涯学習・社会教育行政の施策に反映させる事業展開を図ることであり、今後も会議の内容や実施時期また、勉強会等の企画を充実させながら効率的かつ活発な社会教育活動を推進していく必要がある。</p>
中長期的方向性	
継続	

# 令和元年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名	放課後子ども教室推進事業		前年度の方向性	拡充
重点プロジェクト	次代を担う子どもを育むプロジェクト			
施策体系	分野	09 教育 ~地域の絆で育む学びのまち~		
	施策	38 社会教育 - 温もりある人と地域を育む学びを推進します -		
予算費目	一般会計 10教育費 04社会教育費 01社会教育総務費			
所管部課	教育部 社会教育課	評価責任者	永倉秀雄	
事務事業期間	平成21年度~	評価日	令和2年7月3日	
個別計画 根拠法令・条例等	埼玉県放課後子供教室推進事業実施要綱 ふじみ野市放課後子ども教室事業実施要綱			
事務事業の内容	事務事業の目的	国が推進する「新・放課後子ども総合プラン」の一環として、学校施設を活用し、放課後の子どもたちの安全かつ安心な居場所を確保し、地域の人々の参画を得るなかで、子どもたちが学習、交流、体験等の活動を通じ、地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。		
	事務事業の経緯	国と県が推進する「放課後子供教室推進事業」を受け、本市においては平成21年度より開設した。平成21年度開設：西原、東台・平成22年度：さぎの森・平成23年度：駒西、三角・平成24年度：元福、東原・平成25年度：大井、西・平成26年度：亀久保、福岡・平成27年度：上野台、鶴ヶ丘		
	事務事業の概要	市内すべての小学生を対象として、放課後に小学校の余裕教室等を活用し、地域の方々が指導者として参画することで、子どもたちと共に勉強やスポーツ・文化活動を通して、地域住民との交流活動の取組みを推進する。 市内各小学校で毎週1回実施している。		
	令和元年度の主な取組	新・放課後子ども総合プランに基づく放課後児童クラブとの一体型の活動に向け、各校、学期に1回を目的に、学校、放課後子ども教室、放課後児童クラブ(3者)による「小学校放課後事業推進検討会議」を行ない、各校の共通プログラムを作成し、より充実した放課後の交流活動を実施。 また、指導員のレベルアップのため、市主催の全体研修会1回、各校代表による情報交換会を年3回実施。県主催の指導員研修会へも参加。		

## 2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.90	0.90	1.24
		人件費	7,287	7,181	9,893
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.77	0.89	0.89
	人件費	1,938	1,574	0	
	人件費計	9,225	8,755	9,893	
事業費	報酬	80	96	1,831	
	賃金	1,589	1,544	0	
	需用費	898	899	1,018	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費	10,557	8,451	12,209	
	支出合計	20,411	18,171	24,951	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	6,527	0	6,909
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	615	0	1,177
	一般財源	13,269	18,171	16,865	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		116	159	145	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

### 3. 事務事業の指標と実績

指標	指標名	参加率		
	説明	登録児童の教室参加率		
活動	単位	%		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	100.00	100.00	100.00
	実績値	88.47	88.95	
指標	指標名	登録人数		
	説明	毎年、活用出来る余裕教室の広さが変動するため、目標値となる定員数が異なる。		
活動	単位	人		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	780	725	650
	実績値	612	566	
指標	指標名			
	説明			
活動	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	<p>放課後子ども教室は、厚生労働省・文部科学省合同の「新・放課後子ども総合プラン」の一環であり、全ての子どもたちの放課後における地域の子どもの安全かつ安心な活動の場(「居場所」)を確保し、地域住民の協力と参画を得て、さまざまな体験、交流、学習等の活動の機会を提供することによって、子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進することを目的としている。これを踏まえて本市では、平成21年度より小学校区の全児童(1~6年生)を対象に、放課後子ども教室を実施している。</p> <p>この事業は、放課後の子どもたちの安全・安心な居場所づくり確保するとともに、学校、地域、家庭が連携した取組としても必要性が高いものと評価されている。</p> <p>実施内容は、以下のとおり。</p> <p>1 ふじみ野市の「放課後子ども教室」活動内容について</p> <p>(1) 体験活動：工作、手芸、書道、ボランティア活動等</p> <p>(2) 交流活動：昔遊び、スポーツ、室内娯楽等</p> <p>(3) 学習活動：宿題、読書、英会話、音楽、その他</p> <p>2 指導員(スタッフ)の配置について</p> <p>実施に当たって、コーディネーター、教育活動推進員、教育活動サポーターなどの指導員を配置し実施している。</p> <p>(1) コーディネーターは、学校や関係機関との連絡調整、人材確保、人員配置、活動プログラムの作成、保護者を含めた地域住民への参加呼びかけなどを行う総合的な調整役を行う。</p> <p>(2) 教育活動推進員は、学習・スポーツ・遊び等の活動をサポートを行う。</p> <p>(3) 教育活動サポーターは、教室の活動や安全見守り活動等を行う。</p>
--------------	--

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	<p>全ての就学児童が放課後等をより安全・安心に過ごしながら多様な体験・活動を行うこと、並びに放課後子ども教室と放課後児童クラブを一体的に実施することを達成するため、より円滑で継続的な教室の運営に向けた取組を進めていく。</p> <p>また、平成30年9月14日文科生第396号通知「新・放課後子ども総合プラン」により、令和元年度から向こう5年間を対象とする新たなプランが策定された。</p>
中長期的方向性	<p>これに伴い、教育委員会と福祉部局の更なる連携体制の確立並びに特別な配慮を必要とする児童への対応に関する方策や、安全・安心な教室運営の視点から運営方法の最適化も視野に入れ、一層の拡充を図らなくてはならない。</p>
継続	

# 令和元年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名		成人式事業		前年度の方向性 縮小	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	09 教育 ~地域の絆で育む学びのまち~			
	施策	38 社会教育 - 温もりある人と地域を育む学びを推進します -			
予算費目					
所管部課		教育部 社会教育課		評価責任者	永倉秀雄
事務事業期間		平成17年度~		評価日	令和2年7月3日
個別計画 根拠法令・条例等					
事務事業の内容	事務事業の目的	成人式は、成人となった青年の新しい門出を祝福して、成人としての自覚を促すとともに、家族や友人達との絆を再認識し、また将来に向けて大きく成長してほしいということを願う大切な行事である。			
	事務事業の経緯	昭和23年に国民の祝日に関する法律が施行され、第2条で「成人の日」として大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ますことが定められた。全国的に成人に達した人を祝う式典として開催されている。			
	事務事業の概要	成人に達した青年男女の新しい門出を大きな単位で喜びを分かち合い、祝福し祈念する厳粛であたたかさのある成人式典を実施する。また、中学校時代の恩師を来賓に招くことで、成人としての意識を深める。			
	令和元年度の主な取組	令和2年ふじみ野市成人式 令和2年1月13日(月) 成人の日 実施 【当日プログラム】 オープニング(祝い太鼓)、開式の言葉、式辞(ふじみ野市長、ふじみ野市教育長) 祝辞(ふじみ野市議会議長)、二十歳のメッセージ(旧大井、旧上福岡各男女1名ずつ)、祝電披露、閉式の言葉 【対象者数】 西地区：男性 380名 女性 297名 合計 677名 東地区：男性 335名 女性 262名 合計 597名 総合計 1,274人			

## 2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.40	0.40	0.82
		人件費	3,239	3,192	6,542
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00	
	人件費	0	0	0	
人件費計		3,239	3,192	6,542	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	92	103	128	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費	114	118	116		
支出合計		3,445	3,412	6,786	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		3,445	3,412	6,786	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		30	30	58	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

### 3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	式典出席者		
	説明	成人式への参加しての満足度としたいが、把握困難であるため出席者数とした。		
活動	単位	人		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	1,243	1,274	1,310
	実績値	809	830	
指標 2	指標名	式典出席率		
	説明	成人式への参加しての満足度としたいが、把握困難であるため参加率とした。		
活動	単位	%		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	100.00	100.00	100.00
	実績値	65.08	65.15	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>成人に達した青年の門出を市民全体で祝い励ますとともに、新成人に対して主体的に行動するふじみ野市民としての自覚と今後の積極的な社会参加を促し、夢と希望と活力あふれる未来のふじみ野を創造するため、成人式を実施する。</p> <p>成人式は中学校時代の同級生が同じ場所に集うということで、疎遠になってしまった旧友と再会する機会を提供し、同時に成人となった青年の新しい門出を祝福すること、また、家族や友人達との絆を再認識し、将来に向けて大きく成長してほしいとすることを願う大切な式典である。</p> <p>本市では、成人の代表者に「二十歳のメッセージ」として、これまで育てていただいた方々への感謝の気持ちや成人としての自覚や決意を披露していただき、多くの仲間と共感する場を提供している。また、令和元年度からは中学三年生以降に市外に転出した新成人に加え、当時越境通学をしていた中学生にも招待状を送付し、一度は遠く離れてしまった旧友との再会のきっかけづくりも行っている。</p>
	<p>内容【プログラム】</p> <p>司会：市職員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・BGM：小・中学校校歌・オープニング（太鼓）（みほの太鼓、福岡太鼓）</li> <li>・開式の言葉（ふじみ野市教育長職務代理）・主催者あいさつ（ふじみ野市長・教育長）</li> <li>・来賓祝辞（ふじみ野市議会議長）・二十歳のメッセージ（旧大井、旧上福岡各男女1名ずつ）</li> <li>・祝電（埼玉県知事、他）・閉式の言葉（教育委員会委員）</li> </ul> <p>招待状発送者数</p> <p>市内在住者 1,274人</p> <p>転出者 74人</p> <p>越境通学者 21人</p> <p>合計 1,369人</p>

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	活気あふれる新成人の門出を祝福するにあたり、成人の声を取り入れた新成人のための成人式となるよう実行委員会形式で事業実施することも視野に入れ、事業の効率化をさらに図るとともに、開催日や会場、進め方の調査、研究を行う。また、成人年齢の引き下げに係る成人式のあり方について、研究、検討を進めていく。
中長期的方向性	
継続	

# 令和元年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名		社会教育関係団体育成事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	09 教育 ~地域の絆で育む学びのまち~			
	施策	38 社会教育 - 温もりある人と地域を育む学びを推進します -			
予算費目		一般会計 10教育費 04社会教育費 01社会教育総務費			
所管部課		教育部 社会教育課		評価責任者	永倉秀雄
事務事業期間		平成17年~		評価日	令和2年7月3日
個別計画 根拠法令・条例等		ふじみ野市社会教育関係団体補助金交付要綱、社会教育法第10条			
事務事業の内容	事務事業の目的	社会教育法第10条に規定する社会教育関係団体の健全な育成及び社会教育の振興による市民文化の醸成を図る。			
	事務事業の経緯	合併前の上福岡市教育委員会では、平成15年度に「上福岡市社会教育関係団体補助金交付要綱」と上福岡市教育委員会の後援等の承認に関する要綱」を定め、事業を推進した。合併後は「ふじみ野市社会教育関係団体補助金交付要綱」に基づき事業を推進している。平成27年度から、PTA連合会補助金は学校教育課へ移管。			
	事務事業の概要	市内社会教育関係団体を統括する文化団体連合会に対し、補助金を交付し、取組を奨励している。			
	令和元年度の主な取組	補助金の申請については、本市の社会教育委員会議にて審査を受けた上で交付を行っている。 令和元年度 申請統括団体数 1団体			

## 2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.40	0.40	0.18
		人件費	3,239	3,192	1,437
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		3,239	3,192	1,437	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	0	0	0	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	234	81	338	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費	0	0	1		
支出合計		3,473	3,273	1,776	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		3,473	3,273	1,776	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		30	29	15	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

### 3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	文化団体連合会主催事業参加者数		
	説明	文化フォーラム事業の市民参加者（令和元年度の文化フォーラムにおいては、新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、中止となった。）		
活動	単位	人		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	550	550	550
	実績値	300	0	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	市の社会教育の振興に大きく貢献している社会教育関係団体の組織及び事業の充実、発展を図るうえで、今後も当該団体の自主的活動の支援をはかることにより、より社会教育を充実させたまちづくりの推進を図った。			
	団体名 ふじみ野市文化団体連合会			
	各種事業取り組み（補助金の目的にあっていいる内容を重視して記入） 市内で文化、芸術活動を行っている団体、個人で組織（52団体・3個人延べ1,300人が加盟）し、会員の親睦交流を図るとともに市の文化向上に資する。9部会が所属していて、それぞれ年1回以上事業を行っており、その他各部会サークルによる独自事業も行っている。			
	代表者名 貫井 洋司			
	市・予算現額	団体予算総額	補助対象経費	補助予定額（円）
338,000	1,988,000	421,299	153,000	
予算内容 文化フォーラム、美術・工芸展、合唱演奏会、邦舞発表会、洋舞交流会、文芸ふじみ野発行、芸能発表会				

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	社会教育関係団体の健全な育成及び社会教育の振興による市民文化の醸成を図るため、その「統括団体」に対し、補助金を交付している。しかし、統括団体の高齢化、活動の固定化や会員減少などの課題がある中で、どのように支援をしていくかが大きな課題となっている。
中長期的方向性	また、社会教育の役割として地域課題の解決に資する学びや団体の育成が課題になっていることから、補助制度の在り方についても検討していく必要がある。
継続	

# 令和元年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名		大井中央公民館管理運営事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	09 教育 ~地域の絆で育む学びのまち~			
	施策	38 社会教育 - 温もりある人と地域を育む学びを推進します -			
予算費目		一般会計 10教育費 04社会教育費 03公民館費			
所管部課		教育部 大井中央公民館		評価責任者	内田徳子
事務事業期間		平成17年度~		評価日	令和2年7月1日
個別計画 根拠法令・条例等		社会教育法、ふじみ野市立公民館条例、ふじみ野市立公民館条例施行規則、ふじみ野市教育振興基本計画アクションプラン、ふじみ野市文化・スポーツ振興条例			
事務事業の内容	事務事業の目的	地域の拠点施設として広く開放し、社会教育の発展と推進を図るとともに安全な施設提供を目的とする。			
	事務事業の経緯	社会教育法に基づき教育活動を実施する上で、安心して学習できる施設の提供を行うため管理運営に努める。			
	事務事業の概要	社会教育法第20条及び第21条第1項の規定に基づき公民館を運営すると共に、地域の拠点とし活用するため、施設の維持管理と運営を行う。			
	令和元年度の主な取組	<p>【公民館運営審議会の開催】</p> <p>社会教育法第29条及びふじみ野市公民館条例第12条の規定に基づき、ふじみ野市公民館運営審議会を設置し、館長の諮問に応じ、公民館運営及び各種事業の企画実施に係る審議を行っている。</p> <p>令和元年度は7回開催（平成31年4月17日、令和元年6月27日、7月19日、8月20日、11月12日、令和2年1月29日、3月27日） 3月27日には、新型コロナウイルス感染拡大防止措置により書面对応にて実施。</p>			

## 2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.50	1.00	1.00
		人件費	12,144	7,978	7,978
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.80	0.50
		人件費	0	3,076	1,922
	会計年度任用職員	従事人数(人)	2.65	1.63	1.63
	人件費	4,253	1,762	0	
人件費計		16,397	12,816	9,900	
事業費	報酬	299	266	5,033	
	賃金	4,015	3,799	0	
	需用費	19,645	13,513	15,559	
	委託料	20,944	21,988	27,397	
	使用料及び賃借料	734	540	420	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	65	64	65	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費	1,718	1,012	2,004	
支出合計		59,565	52,235	60,378	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	696	639	1,667
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	612	601	591
一般財源		58,257	50,995	58,120	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		510	446	500	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

### 3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	公民館利用者延べ人数		
	説明	公民館を利用した延人数。公民館活動や事業など公民館が市民の活動の場となっているかの指標。		
活動	単位	人		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	112,100	113,400	114,800
	実績値	99,999	94,304	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>【公民館運営審議会の開催】 令和元年度については、ふじみ野市公民館運営審議会を年7回開催した。 各回の開催日と主な議題 第1回 平成31年4月17日開催 ・ふじみ野市文化施設基本構想・基本計画（案）について 第2回 令和元年6月27日開催 ・公民館事業進捗状況について / ・公民館の現状と今後の課題 第3回 令和元年7月19日開催 ・公民館長からの諮問について / ・公民館運営に係る今後の課題について 8月9日に専門部会を開催 第4回 令和元年8月20日開催 ・ふじみ野市文化施設管理運営計画（骨子案）について / ・分館長からの諮問について（答申）（案）について / ・答申 第5回 令和元年11月12日開催 ・公民館事業進捗状況について / ・ふじみ野市文化施設管理運営計画本編（案）策定に向けた事業検討について / ・市民と行政の協働を基盤とした社会教育行政の推進・充実を図る施策について 第6回 令和2年1月29日開催 ・ふじみ野市文化施設管理運営計画本編（案）について / ・ふじみ野市立公民館条例の一部改正及びふじみ野市立公民館条例施行規則の一部改正について / ・令和2年度の上福岡公民館休館中における同公民館の事業運営について 第7回 令和2年3月27日開催予定としていたが、コロナウイルス感染拡大防止のため中止（書面対応にて実施）</p> <p>【修繕】 利用者が安心して学習できる施設を提供するため、修繕を実施。</p>
------------------	---

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	社会教育法に基づき公民館を運営し、施設の維持管理に努め、安心して学習できる施設を提供していく。
中長期的方向性	
継続	

# 令和元年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名		大井中央公民館分館管理事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	09 教育 ~地域の絆で育む学びのまち~			
	施策	38 社会教育 - 温もりある人と地域を育む学びを推進します -			
予算費目		一般会計 10教育費 04社会教育費 03公民館費			
所管部課		教育部 大井中央公民館		評価責任者	内田徳子
事務事業期間		平成17年度~		評価日	令和2年7月1日
個別計画 根拠法令・条例等		社会教育法、ふじみ野市立公民館条例、ふじみ野市立公民館条例施行規則、ふじみ野市教育振興基本計画アクションプラン、ふじみ野市文化・スポーツ振興条例			
事務事業の内容	事務事業の目的	分館の維持管理を行ない、社会教育施設として活動の場を提供することを目的とする。			
	事務事業の経緯	地域に根ざした社会教育活動を実施するため、分館長を中心に施設の管理運営に努める。			
	事務事業の概要	大井中央公民館の分館施設の維持管理運営を行なう。			
	令和元年度の主な取組	【分館長会議】年3回開催 平成31年4月5日開催 平成31年度分館委託金について 他 令和元年12月25日開催 分館委託料の取り扱いについて 他 令和2年1月30日開催 令和元年度管理委託金決算報告書の提出について 他			

## 2. 事務事業費・人件費

(単位:千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.00	0.33	0.50
		人件費	8,096	2,633	3,989
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.20	0.50
		人件費	0	769	1,922
会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	1.63	0.45	
	人件費	0	884	0	
人件費計		8,096	4,286	5,911	
事業費	報酬	648	648	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	4,301	2,884	3,419	
	委託料	2,885	2,858	3,283	
	使用料及び賃借料	1,366	1,295	1,332	
	工事請負費	978	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費	321	384	772		
支出合計		18,594	11,471	14,717	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	766
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	1,500	0	0
		基金	0	0	0
		その他	159	112	0
一般財源		16,935	11,359	13,951	
市民1人あたりの負担コスト(単位:円)		148	99	120	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

### 3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	分館利用者数		
	説明	分館を利用した延人数。分館が市民の活動の場となっているかの指標。 延べ利用者数（18分館）72,641人		
活動	単位	人		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	73,600	74,500	75,400
	実績値	77,802	72,641	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	地域に根ざした社会教育活動を実施するため、分館長を中心に施設の管理運営につとめ、分館利用者に向けた施設の提供をした。		
	令和元年度分館利用状況（令和2年年3月末現在）		
	(1)分館の年間利用件数	合計	5,056件
	(2)分館の年間利用人数	合計	72,641人
	（内訳）		
	旭分館	173件	2,441人
	大井分館	307件	3,565人
	苗間分館	273件	4,216人
	亀久保分館	517件	5,428人
	鶴ヶ岡分館	623件	8,506人
	三角分館	45件	847人
	亀久保西分館	104件	1,439人
	江川分館	404件	7,209人
	学園分館	273件	3,052人
	三保野分館	343件	4,702人
	武蔵野分館	140件	2,355人
	亀居分館	524件	7,051人
	原分館	106件	1,214人
	緑ヶ丘分館	317件	5,826人
	八丁分館	68件	875人
	赤土原分館	402件	8,299人
	亀久保南分館	82件	1,055人
	ふじみ野分館	355件	4,584人

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	社会教育法に基づき公民館を運営し、施設の維持管理に努め、安心して学習できる施設を提供していく。
中長期的方向性	
継続	

# 令和元年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名		市民文化祭事業（おい会場）		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	09 教育 ~地域の絆で育む学びのまち~			
	施策	38 社会教育 - 温もりある人と地域を育む学びを推進します -			
予算費目					
所管部課		教育部 大井中央公民館		評価責任者	内田徳子
事務事業期間		平成17年度~		評価日	令和2年7月1日
個別計画 根拠法令・条例等					
社会教育法、ふじみ野市教育振興基本計画アクションプラン、ふじみ野市文化・スポーツ振興条例					
事務事業の内容	事務事業の目的	一般市民を対象に、地域文化の発展と創造のための文化活動の機会を提供する。			
	事務事業の経緯	平成17年の合併から第1回ふじみ野市民文化祭としてお行われ、平成18年からは【おい会場】、【かみふくおか会場】として実施されてきた。令和2年度は、上福岡公民館の大規模改修があることから、大井中央公民館で行うこととなった。令和3年度から大井中央公民館の建替え工事で使用できなくなるため、実行委員会を統合する検討委員会を立ち上げ、準備を開始した。			
	事務事業の概要	毎年10月~11月にかけての文化祭は7部門に分かれ、各部門の準備会で役員を選出し、その役員によって実行委員会を組織し、委託事業として実施している。			
	令和元年度の主な取組	第15回市民文化祭おい会場では、7部門（子どもフェスティバル、作品展、芸能祭、洋舞音楽祭、大会、子ども劇場、青年祭）の実施で118団体、2個人の参加があった。			

## 2. 事務事業費・人件費

(単位:千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.00	0.70	1.00
		人件費	8,096	5,585	7,978
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.30	0.20
		人件費	0	1,154	769
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.16	0.16
	人件費	0	0	0	
人件費計		8,096	6,739	8,747	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	0	0	0	
	委託料	1,615	1,615	3,215	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費	0	0	0		
支出合計		9,711	8,354	11,962	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		9,711	8,354	11,962	
市民1人あたりの負担コスト(単位:円)		85	73	103	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

### 3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	市民文化祭参加団体数		
	説明	より多くの団体が参加することにより地域文化活動の発表の機会が得られ、実行委員会の基盤を強化にもつなげるため参加団体数を活動指標とした。 前年同様の周知を図ったが、2団体目標に届かなかったため令和2年度は青年団体に声をかけ、目標達成を目指す。		
活動	単位	団体		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	120	120	120
	実績値	112	118	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	<p>【第15回ふじみ野市民文化祭おい会場について】</p> <p>市民文化祭おい会場では7つの部門に分かれて市民による実行委員会を組織し事業実施を委託し開催。 令和元年10月26日（土）～令和元年11月24日（日） 来場者数：延べ7,584人</p> <p>子どもフェスティバル 令和元年10月27日（日）午前10時～午後3時 1,585人 参加団体数：13団体</p> <p>作品展 令和元年10月26日（土）～27日（日）午前9時～午後4時（小・中学校作品展〔大井地区〕） 令和元年11月1日（金）～11月3日（日・祝）午前9時～午後4時（作品展）3,548人 参加団体数：10校、31団体、1個人</p> <p>芸能祭 令和元30年11月2日（土）午前10時30分～午後4時 472人 参加団体数：23団体、1個人</p> <p>洋舞音楽祭 令和元年11月3日（日・祝）午前10時～午後4時 916人 参加団体数：23団体</p> <p>大会（バザー・秋の茶会・囲碁将棋大会・模擬店） 令和元年11月3日（日・祝）午前9時30分～午後3時 388人 参加団体数：5団体</p> <p>子ども劇場 令和元年11月17日（日）午前10時30分～正午 350人 参加団体数：1団体</p> <p>青年祭 令和元年11月24日（日）午後1時～5時 325人 参加団体数：12団体</p>
--------------	---

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	市民による実行委員会に委託し市民が主体となった事業として確実に定着している中、参加団体（個人を含め）の拡大による事業の充実と、実行委員会の事業運営力の更なる向上を図り、市全体にアピールし地域文化の発展につなげていく必要がある。また、市と市民、市民相互の協働事業として、市民自らが学びの場と機会を作り上げるといった教育力の向上に役立っている事業であるため、今後も市民の文化活動の一環を成す事業として実施する予定である。
中長期的方向性	
継続	

# 令和元年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名		地域文化振興事業（大井中央）		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～			
	施策	38 社会教育 - 温もりある人と地域を育む学びを推進します -			
予算費目		一般会計 10教育費 04社会教育費 03公民館費			
所管部課		教育部 大井中央公民館		評価責任者	内田徳子
事務事業期間		平成17年度～		評価日	令和2年7月1日
個別計画 根拠法令・条例等		社会教育法、ふじみ野市教育振興基本計画アクションプラン、ふじみ野市文化・スポーツ振興条例			
事務事業の内容	事務事業の目的	地域文化の発展と創造のための文化活動の機会提供、魅力のある生の芸術等の鑑賞機会提供による地域文化に寄与する。			
	事務事業の経緯	昭和55年の大井中央公民館新築により大ホールが設置された当時から「舞台芸術鑑賞会」としてホールを利用した事業を開催している。また、6月～1月の毎月第2土曜日に「公民館サロン」として「大井寄席」を開催している他、平成28年度より市出身の落語家による「地元落語家応援寄席」も実施している。			
	事務事業の概要	ホールを活用した舞台芸術鑑賞事業（演劇・音楽）、視聴覚室を活用した公民館サロンを実施している。			
	令和元年度の主な取組	舞台芸術鑑賞会：実行委員会方式による企画・運営で、親子を対象とした演劇を1回行った。 公民館サロン：舞台芸術を少人数で気軽に味わってもらおう催しとして、「大井寄席」を8回、地元落語家応援寄席を1回行った。			

## 2. 事務事業費・人件費

（単位：千円）

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.65	0.50	0.65
		人件費	5,263	3,989	5,186
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.15	0.20
		人件費	0	577	769
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.16	0.16
	人件費	0	0	0	
人件費計		5,263	4,566	5,955	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	38	38	38	
	委託料	980	980	980	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費	282	283	288		
支出合計		6,562	5,867	7,261	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	725	670
一般財源	6,562	5,142	6,591		
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		57	45	57	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

### 3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	舞台芸術鑑賞会入場者数		
	説明	舞台芸術鑑賞会の入場者数（年1回実施） 前年同様の周知を図ったが、51人目標に届かなかったため令和2年度は近隣市町にチラシを配布し、目標達成を目指す。		
成果	単位	人		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	700	600	600
	実績値	447	549	
指標 2	指標名	公民館サロン入場者数		
	説明	公民館サロンとして実施している「大井寄席」「地元落語家応援寄席」（ともに落語）の入場者数（年9回実施） 前年同様の周知を図ったが、81人目標に届かなかったため令和2年度は近隣市町にチラシを配布し、目標達成を目指す。		
成果	単位	人		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	585	585	585
	実績値	585	504	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	<p>【令和元年度地域文化振興事業について】 地域文化の発展と創造のための事業。魅力ある生の芸術を身近な場所、安い料金で気軽に鑑賞する機会となっている。併せて、芸術や文化を身近に感じて関心を持つきっかけづくりを図る。</p> <p>(1) 舞台芸術鑑賞会 舞台芸術をより身近な場所で鑑賞する機会を設けるための事業。公募した委員による舞台芸術鑑賞会実行委員に事業実施を委託して企画・運営を行った。実行委員会方式での運営は、市民による事業実施能力を高めることにより市民自身の教育力を高める効果がある一方、公募実行委員が集まらない課題がある。</p> <p>令和元年12月1日（日）午後2時 開演「ピーターパンとウェンディ」549人 出演：劇団ポプラ</p> <p>(2) 公民館サロン 舞台芸術を少数のサロンの雰囲気の中で味わってもらおう事業を実施。定期的に古典芸能に触れる機会を提供することにより、市民の文化的な知識・経験の向上を図っている。</p> <p>大井寄席 二つ目の落語家による「大井寄席」を6月～翌年1月の毎月第2土曜日の午後3時～4時30分に開催。 入場者数：437人 ・令和元年 6月柳家わさび 69人 7月春風亭一花 61人 8月春風亭正太郎 45人 9月春風亭一左 48人 10月林家ななこ 台風により中止 11月春風亭一蔵 58人 12月古今亭始 56人 令和2年 1月柳家小んぶ 47人 2月林家なな子 53人 10月の振り替え</p> <p>地元落語家応援寄席 平成28年度より、地元出身の落語家を応援する事業を開催。 ・令和元年5月11日（土）午後3時～4時30分、立川志の太郎 67人</p>
--------------	--

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	<p>実行委員会方式の「舞台芸術鑑賞会」、開催が定着している「公民館サロン」ともに、公民館利用者に芸術を身近に感じて関心を高めてもらおう格好の事業となっている。また、「公民館サロン」の「大井寄席」については、出演者自身の横のつながりを核とした継続的な実施が確保できることで、出演者間での「大井寄席」の評判や、高座の質の向上を維持する等、多方面に継続実施の効果が反映されている。今後も市民ニーズに合致した、質の高い芸術を鑑賞できる機会を提供できるよう事業に取り組んでいく。</p>
中長期的方向性	
継続	

# 令和元年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名		高齢者教育事業（大井中央）		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～			
	施策	38 社会教育 - 温もりある人と地域を育む学びを推進します -			
予算費目		一般会計 10教育費 04社会教育費 03公民館費			
所管部課		教育部 大井中央公民館		評価責任者	内田徳子
事務事業期間		平成17年度～		評価日	令和2年7月1日
個別計画 根拠法令・条例等		社会教育法、ふじみ野市教育振興基本計画アクションプラン、ふじみ野市文化・スポーツ振興条例			
事務事業の内容	事務事業の目的	高齢者に公民館事業を通じて、学習の機会を提供し、生涯学習を支援する。			
	事務事業の経緯	これまで、大井中央公民館と上福岡公民館で「もくせい大学」・「ことぶき大学」をそれぞれ実施していたが、平成30年度に3館合同で準備委員会を設立し、事業を一本化し、内容を見直したうえで、令和元年度から3館合同の高齢者大学「昭和100年大学」を開講することとなった。			
	事務事業の概要	高齢者がいつまでも元気に社会参加し、豊かな人生を送ることができるよう幅広い学習の場を提供するとともに、その学習の成果を社会や地域に活かす事ができるように公民館が一本化して支援していく。大井中央公民館がくらしの生活学部（くらし学科・生活の知識学科） 上福岡公民館が元気健康学部（健康のための教養学科・健康のための体育学科・健康のための音楽学科） 上福岡西公民館がくらしの中の芸術学部（くらしの中の陶芸学科・くらしの中の美術学科）をそれぞれ年間を通して開講している。また、各学部年2回「昭和100年大学」の受講生並びに市内在住在勤者を対象に合同公開講座を開講している。			
	令和元年度の主な取組	くらしの生活学部 くらし学科・生活の知識学科を5月～12月に毎月1回（7月、8月、1月は除く）開設し、12回の事業を実施した。3月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。 合同公開講座を7月に開催した。2月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。			

## 2. 事務事業費・人件費

（単位：千円）

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.60	0.40	0.65
		人件費	4,858	3,192	5,186
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.20	0.20
		人件費	0	769	769
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.16	0.16
	人件費	0	0	0	
人件費計		4,858	3,961	5,955	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	16	37	37	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	144	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費	500	283	509		
支出合計		5,519	4,281	6,501	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		5,519	4,281	6,501	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		48	37	56	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

### 3. 事務事業の指標と実績

指標	指標名	学科講座等の延べ開催回数		
	説明	市民のニーズを考慮した事業の開催回数を実施する。 新型コロナウイルス感染拡大防止のため講座が中止になり講座数が減少した。 令和元年度より新たに設定した目標値・実績値である。		
活動	単位	回		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	203	16	13
	実績値	207	13	
指標	指標名	応募率		
	説明	受講者のニーズに合致した魅力的な内容であれば、応募率も高くなる。受講者の満足度にもつながるため、成果指標とした。 前年同様の周知を図ったが、51%目標に届かなかったため令和2年度は広報を工夫し、目標達成を目指す。		
成果	単位	%		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	88.00	100.00	100.00
	実績値	86.30	49.00	
指標	指標名	出席率		
	説明	受講者のニーズに合致した魅力的な内容であれば、出席率も高くなる。受講者の満足度にもつながるため、成果指標とした。 目標の80%を達成できなかったが、受講生からのアンケートを参考に令和2年度のカリキュラムに取り入れ、目標達成を目指す。		
成果	単位	%		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	0.00	80.00	80.00
	実績値	0.00	72.70	

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	【令和元年度高齢者教育事業について】 高齢者一人ひとりが生涯にわたって学ぶことにより、豊かな人生を送ることができるよう幅広い学習の場を提供するとともに、その学習の成果を地域づくりに活かすことができるよう支援する。 (1) 昭和100年大学くらしの生活学部くらし学科 月1回第2火曜日 10時～正午 定員100人(応募者51人) 5月21日 参加者36人 6月11日 参加者39人 9月10日 参加者29人 10月8日 参加者は38人 11月12日 参加者34人 12月10日 参加者36人 3月10日 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 全6回 年間延べ人数212人
	(2) 昭和100年大学くらしの生活学部生活の知識学科 月1回第4木曜日 10時～正午 定員100人(応募者46人) 5月23日 参加者37人 6月27日 参加者34人 9月26日 参加者37人 10月17日 参加者31人 11月28日 参加者30人 12月26日 参加者31人 3月12日 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 全6回 年間延べ人数200人
	昭和100年大学全学部学科の受講生並びに受講生以外の市内在住在勤の一般市民を対象として講座を行った。 (3) 昭和100年大学 合同公開講座 年2回 木曜日 10時～正午 定員600人 7月25日 参加者96人(一般応募者14人含) 2月27日 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	昭和100年大学の対象となる60歳以上の高齢者の市人口に占める割合は29.8%(令和元年10月1日現在)と昨年同時期より0.3ポイント下降しているが、依然として人口の約3割弱を占めている。また、大井中央公民館区では28.2%となっている。超高齢化社会を背景に、高齢者の健康維持や居場所づくり、生きがいづくり、又地域のコミュニティー育成に貢献する事業であるとともに、高齢者の学習意欲を満たし、心身ともに豊かな生活の実現を目的とする、現代社会に必須の事業であるため、今後も参加対象者のニーズを把握した学習機会の提供に取り組む。
中長期的方向性	
継続	

# 令和元年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名		青少年教育事業（大井中央）		前年度の方向性	
				継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	09 教育 ~地域の絆で育む学びのまち~			
	施策	38 社会教育 - 温もりある人と地域を育む学びを推進します -			
予算費目		一般会計 10教育費 04社会教育費 03公民館費			
所管部課		教育部 大井中央公民館		評価責任者	内田徳子
事務事業期間		平成17年度~		評価日	令和2年7月1日
個別計画 根拠法令・条例等		社会教育法、ふじみ野市教育振興基本計画アクションプラン、ふじみ野市文化・スポーツ振興条例			
事務事業の内容	事務事業の目的	子どもたちが多様な学びを経験する機会を得ることにより、郷土を愛する手立てとなることを目的とする。			
	事務事業の経緯	学校週5日制対応事業として小・中学生を対象に事業を開設。子どもたちが地域の中で健全かつ心豊かな人間関係を育むための学習機会の提供を目的に、公民館利用団体と連携した各種教室や文京学院大学等と連携した野外活動体験等、各種プログラムを企画実施し、市民より好評を博してきた。平成30年度は6教室を毎月定期的に開催、夏休みには親子チャレンジ教室を実施した。			
	事務事業の概要	小・中学生を対象に、手話・和太鼓・合唱・茶道・将棋・陶芸・硬筆と筆ペン・リズム体操・あそびの教室の9教室を開設した。また、夏休みには親子チャレンジ教室を実施した。			
	令和元年度の主な取組	子どもの城教室：地域や仲間と交流を図りながらさまざまなことを学習できる9教室を開設し、71回事業を行った。 夏休み親子チャレンジ教室：「親子でせっけんづくり」の事業を1回行った。			

## 2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.60	0.40	0.60
		人件費	4,858	3,192	4,787
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.20	0.20
		人件費	0	769	769
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.16	0.16
	人件費	0	0	0	
人件費計		4,858	3,961	5,556	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	24	24	24	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	3	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費	382	522	542		
支出合計		5,267	4,507	6,122	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		5,267	4,507	6,122	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		46	39	53	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

### 3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	子どもの城延べ開催回数		
	説明	教室数や内容等、時代のニーズに合致した事業による教室の開催回数とする。 台風及び新型コロナウイルス感染拡大防止のため教室が中止になり開催回数が目標値に届かなかった。		
活動	単位	回		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	76	93	93
	実績値	67	71	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>【令和元年度青少年教育事業について】</p> <p>学校週5日制が試行的に実施された平成4年度から、地域における子どもの居場所づくりとして、遊びや学びの機会を提供するとともに、学校や地域と連携して、人との交流やコミュニケーションを経験できる行事やイベントなどを開催し、青少年の自主的な社会参加を促進している。小・中学生を対象に、子どもたちが地域の中で、健全かつ心豊かな人間関係を育むための学習の機会を提供するため、9教室を毎月定期的で開催している。平成30年度から新たな事業として、小学生の親子を対象とした夏休み親子チャレンジ教室を開催している。</p> <p>(1) 子どもの城教室 令和元年度は9教室を開設し、受講者は163人。年間受講者は延べ1,085人。(開設期間：令和元年6月～令和2年3月 毎月基本第2土曜日午前中) 3月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 将棋教室(小学1年生～中学3年生)59人 講師：日本将棋連盟ふじみ野支部 陶芸教室(小学4年生～中学2年生)15人 講師：陶の会 茶道教室(小学3年生～中学2年生)13人 講師：花月会 手話教室(小学1年生～小学6年生)11人 講師：ふじみ野市手話サークル 合唱教室(小学1年生～小学6年生)10人 講師：村山光代氏、新井里美氏、小林彦之氏 和太鼓教室(小学4年生～中学2年生)15人 講師：和太鼓「響」 硬筆と筆ペン教室(小学3年生～小学6年生)15人 講師：四季彩会 リズム体操教室(小学1年生～小学3年生)11人 講師：小澤晴美氏 あそびの教室(小学1年生～小学3年生)14人 講師：ふじみ野市学童保育の会</p> <p>(2) 夏休み親子チャレンジ教室 「親子でせっけんづくり」 令和元年7月20日(土)午前10時～正午(小学生親子30組)60人 講師：美カスペース エイビス 金沢治子氏</p>

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	「子どもの城」は、対象となる小・中学生の学校、年齢を超えた交流をベースに高い学習効果を生み出すとともに、講師をボランティア的に務めている公民館利用者のモチベーションアップにつながるものとして、公民館のみならず市民の教育力の向上につながる重要な価値を持つ事業である。また、事業実施の過程で学習成果の発表の場(市民文化祭など)を設け、受講者の家族等と意思の疎通を図ることができるなど、さまざまな可能性を持つ事業となっている。
中長期的方向性	なお、受講者募集に際しては、大井中央公民館区域小・中学校10校の協力を得ている。
継続	

# 令和元年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名		成人教育事業（大井中央）		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～			
	施策	38 社会教育 - 温もりある人と地域を育む学びを推進します -			
予算費目		一般会計 10教育費 04社会教育費 03公民館費			
所管部課		教育部 大井中央公民館		評価責任者	内田徳子
事務事業期間		平成17年度～		評価日	令和2年7月1日
個別計画 根拠法令・条例等		社会教育法、ふじみ野市教育振興基本計画アクションプラン、ふじみ野市文化・スポーツ振興条例			
事務事業の内容	事務事業の目的	地域課題や生活課題の学習とともに、さまざまな体験を重ねることで、心身ともに充足し、住んで良かったといえる地域づくりを目指す。			
	事務事業の経緯	昭和48年度の「大井町公民館年間計画」ですでに「青少年教育の充実」や「芸術文化活動の高揚」などとともに「成人教育の充実」が掲げられ、「家庭教育学級」や「文化講座」などが実施されている。基本とする目的を押さえつつ、その時代の課題に応じた内容の事業を行い現在に至っている。			
	事務事業の概要	子育て講座、趣味講座、地域分館コミュニティ事業、日本語講座、人権講座、緑のカーテン育成講座			
	令和元年度の主な取組	成人教育の充実を目的に、子育て講座（全2回）、趣味講座（全3回）、地域分館コミュニティ事業による学習会（全4回）、「日本語教室」（全40回）、人権講座（1回）、緑のカーテン育成講座（全2回）など市民ニーズに合致した魅力ある講座を企画開催。			

## 2. 事務事業費・人件費

（単位：千円）

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.65	0.50	0.65
		人件費	5,263	3,989	5,186
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.15	0.20
		人件費	0	577	769
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.16	0.16
	人件費	0	0	0	
人件費計		5,263	4,566	5,955	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	21	23	23	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費	335	102	413		
支出合計		5,619	4,691	6,391	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		5,619	4,691	6,391	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		49	41	55	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

### 3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	講座回数		
	説明	多様な講座が開催されることで、対象者の趣味や生活パターンに応じた受講の機会が増えるため活動指標とした。 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、子育て講座・趣味講座・人権講座が中止になり講座回数が目標値に達しなかった。		
活動	単位	回		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	20	20	20
	実績値	15	7	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	【令和元年度成人教育事業について】
	<p>(1) 子育て講座 令和元年12月13日金曜日午前10時～11時 令和2年3月13日金曜日午前10時～11時 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。 子育て中のお母さん、お父さんの悩みを解決するヒントを得たり、より良い家族関係を築くための親子のふれあい学習の場となる講座を開催。 参加者数：満2歳から～就学前の子と親、20組 講師：上野台子育て支援センター職員</p> <p>(2) 趣味講座 令和2年2月28日～3月13日毎週金曜日（全3回）午後7時～9時 多くの人が公民館に親しんでもらえるよう、参加しやすい趣味「初心者ヒップホップダンス」をテーマとした体験教室。日中、公民館へ足を運べない人のことを考慮して、夜間に企画。 応募者数：15人 講師：三本明香氏（H A R U K A H A N）新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。</p> <p>(3) 地域分館コミュニティ事業 武蔵野の歴史や文化等の調査研究に取り組んでいる「おらほう来ねか大井郷」と共同で、地域の再発見とコミュニティ推進を目的とした学習会を2回開催。参加者数：36人</p> <p>(4) 日本語教室 令和元年4月から毎週土曜日（全40回）、午後1時30分～3時30分 外国人の語学力向上により円滑なコミュニケーションと心豊かな生活を共有できる地域づくりを図るために、ふじみの国際交流センターの協力を得て日本語教室を開催。 2月29日以降は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。 年間利用者数：延べ109人（大人91人、子ども18人）</p> <p>(5) 人権講座 令和元年2月28日（金）午後1時30分～ 大きな社会問題となっている人権をめぐる諸問題の解決に向けた講座を実施。令和元年度は「災害時における人権への配慮」を焦点とした講座を企画。 応募人数：11人 講師：埼玉県庁人権推進課職員 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。</p>

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	学習や交流の機会を求めている市民に、その機会を提供することは公民館の大きな役割である。市民ニーズは多様であり、それらを的確に捉え学習機会を提供することにより市民全体の教育力向上につながるものとして、今後も継続して実施していく。
中長期的方向性	
継続	

# 令和元年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名		上福岡公民館管理運営事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	09 教育 ~地域の絆で育む学びのまち~			
	施策	38 社会教育 - 温もりある人と地域を育む学びを推進します -			
予算費目		一般会計 10教育費 04社会教育費 03公民館費			
所管部課		教育部 上福岡公民館		評価責任者	内田 徳子
事務事業期間		平成17年度~		評価日	令和2年7月1日
個別計画 根拠法令・条例等		社会教育法、ふじみ野市立公民館条例、ふじみ野市立公民館条例施行規則、ふじみ野市教育振興基本計画アクションプラン、ふじみ野市文化・スポーツ振興条例			
事務事業の内容	事務事業の目的	利用しやすい公民館を目指し、効率的な管理運営と適切な施設の維持管理に努めるとともに、市民の自主的な学習活動の一層の発展に資する。			
	事務事業の経緯	昭和54年上福岡公民館開館以来、事務事業の目的達成のため、安全で安心して学習できる施設の維持・管理に努めている。			
	事務事業の概要	社会教育法第20条及び第21条第1項の規定に基づき、公民館を運営すると共に、地域の拠点とし活用するため、施設の維持管理と運営を行う。			
	令和元年度の主な取組	当該施設を市民が快適に、また安全に安心して活動できるよう施設の維持管理を実施した。			

## 2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.50	0.50
		人件費	4,048	3,989
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00
		人件費	0	0
	会計年度任用職員	従事人数(人)	1.92	0.50
	人件費	2,824	665	
人件費計		6,872	4,654	3,989
事業費	報酬	0	0	3,487
	賃金	2,824	3,110	0
	需用費	161	497	93
	委託料	0	0	1,282
	使用料及び賃借料	0	0	158
	工事請負費	0	0	0
	負担金、補助及び交付金	0	0	0
	扶助費	0	0	0
その他事業費	180	890	937	
支出合計		7,212	8,486	9,946
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0
		県支出金	0	0
		使用料・手数料	0	25
		分担金・負担金	0	0
		地方債	0	0
		基金	0	0
		その他	0	4
一般財源		7,212	8,457	9,932
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		63	74	85

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

### 3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	公民館利用者延べ人数		
	説明	公民館を利用した延人数。公民館活動や事業など公民館が市民の活動の場となっているかの指標（3月末時点）		
活動	単位	人		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	28,900	30,000	0
	実績値	32,000	26,720	
指標 2	指標名	施設利用率		
	説明	施設が有効に利用されているかの指標。 （（利用区分数）÷（利用可能区分数））×100（3月末時点）		
成果	単位	%		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	50.00	50.00	0.00
	実績値	57.00	49.00	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	上福岡公民館の概要				
	【定員】ホール 100人 / 和室 50人 / 実習室 40人 / 音楽室 20人 / 学習室 30人 合計240人				
	【施設提供】 年間を通じて各種の教室や講座、展示会を開催しているほか、サークルやグループに活動の場を提供している。				
	【開館時間】 午前9時～午後10時				
	施設の利用状況 令和元年度利用団体登録数 246団体				
	【施設利用率】 令和元年度				
		部屋名	述べ利用者数	開館日数 306日 利用区分数	利用率
		ホール	10,624人	701件	76.4%
		和室	3,601人	349件	38.1%
		実習室	1,694人	166件	18.1%
	音楽室	5,070人	519件	56.6%	
	学習室	5,731人	513件	55.9%	
	計	26,720人	2,248件	49.0%	
	施設管理状況				
	令和元年度 主な施設修繕・工事の実績				
	・上福岡公民館防排煙設備感知器交換修繕		16,200円		
	・上福岡公民館電磁接触器他交換緊急修繕		367,200円		

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	令和2年度に大規模改修工事を実施することにより、利用頻度が向上することが予測されることから、利用者が安全安心して利用できるよう、施設の維持管理を行なう。
中長期的方向性	
継続	

# 令和元年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名		地域文化振興事業（上福岡）		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～			
	施策	38 社会教育 - 温もりある人と地域を育む学びを推進します -			
予算費目		一般会計 10教育費 04社会教育費 03公民館費			
所管部課		教育部 上福岡公民館		評価責任者	内田 徳子
事務事業期間		平成17年度～		評価日	令和2年7月1日
個別計画 根拠法令・条例等		社会教育法、ふじみ野市教育振興基本計画アクションプラン、ふじみ野市文化・スポーツ振興条例			
事務事業の内容	事務事業の目的	地域住民の実際生活に即した教育、学術及び文化に関する事業を行い、より地域社会に密着した文化を築き上げていく。			
	事務事業の経緯	囲碁将棋大会は昭和47年から開催。公民館館外協力員連絡会は分館廃止の替わりの地域活動として平成16年度から実施。春の音楽会は平成14年度から実施。			
	事務事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民により優れた音楽を提供するため、公民館利用団体等の協力を得ながら、オータムコンサートや春コンサートを実施。</li> <li>・上福岡地区を3班に分割し、地域文化の醸成を目的に館外協力員連絡会の活動を実施。</li> <li>・日頃のサークル活動の実践の場、交流する場を提供することを目的に囲碁将棋大会を実施。</li> </ul>			
	令和元年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・春コンサートは、3月15日に予定されていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。</li> <li>・館外協力員連絡会において、旧上福岡地区を3班に分割し、地域の特성에応じた事業を協力員が中心となって、オータムコンサート及び落語会を協力事業として実施。</li> <li>・子ども将棋オセロ大会を5月25日、囲碁将棋大会（一般）を5月26日に実施。</li> </ul>			

## 2. 事務事業費・人件費

（単位：千円）

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.30	0.30	0.30
		人件費	2,429	2,394	2,394
	再任用職員	従事人数(人)	0.10	0.10	0.10
		人件費	369	385	385
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		2,798	2,779	2,779	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	7	11	10	
	委託料	189	162	0	
	使用料及び賃借料	1	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費	320	65	450		
支出合計		3,315	3,017	3,239	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	500	0	0
一般財源		2,815	3,017	3,239	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		25	26	28	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

### 3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	参加者数（公民館館外協力員全体事業参加者数）		
	説明	事業実施に対する、延べ参加者数。		
成果	単位	人		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	660	660	660
	実績値	528	525	
指標 2	指標名	来場者数（春の音楽会）		
	説明	事業実施に対する、延べ参加者数。		
成果	単位	人		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	500	500	0
	実績値	443	0	
指標 3	指標名	応募者数（囲碁将棋・オセロ大会応募者数）		
	説明	事業実施の応募者数。		
成果	単位	人		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	130	130	0
	実績値	168	156	

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	<p>地域文化の醸成を図ることを目的に、様々なジャンルの事業を実施することとした。多くの参加を促すため、市報や広報掲示板などの広報活動を行うとともに、公民館利用者への案内を行うなど、積極的に参加を促した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・館外協力員連絡会...旧上福岡地区を3班に分割し、地域の特性に応じた事業を協力員が中心となって実施。</li> <li>・オータムコンサート...令和元年9月29日（日） 入場者数 168人</li> <li>・新春落語会...令和2年1月17日（金） 入場者数 170人</li> </ul> <p>上福岡地区においては、落語を楽しんでもらう機会が少ないので、実施回数を増やすことについて考えていく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・春コンサート...令和2年3月15日（日） 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。</li> <li>・子ども将棋オセロ大会...令和元年5月25日（土） 116人</li> <li>・囲碁将棋大会（一般）...令和元年5月26日（日） 35人</li> </ul>
--------------	---

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	地域における学習機会の提供や地域活動を支援することにより、地域コミュニティの形成や地域課題に対応した学習の展開をすることが出来ることから、今後も事業の継続は必要である。
中長期的方向性	館外協力員連絡会については、委員の高齢化が目立ち、協力員が各班においても毎年減少していることで活動に支障が出てきており、来年度は地域出前講座として公民館主体事業に変更して地域課題の解決に向け、事業展開を図っていく。
継続	また、音楽系事業と囲碁将棋オセロ大会については、公民館大規模改修工事により、会場の確保が難しいことから、来年度は休止とする。

# 令和元年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名		青少年教育事業（上福岡）		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	09 教育 ~地域の絆で育む学びのまち~			
	施策	38 社会教育 - 温もりある人と地域を育む学びを推進します -			
予算費目		一般会計 10教育費 04社会教育費 03公民館費			
所管部課		教育部 上福岡公民館		評価責任者	内田 徳子
事務事業期間		平成17年度~		評価日	令和2年7月1日
個別計画 根拠法令・条例等		社会教育法、ふじみ野市教育振興基本計画アクションプラン、ふじみ野市文化・スポーツ振興条例			
事務事業の内容	事務事業の目的	豊かな地域社会の創造発展を図るため、青少年を対象とした生涯学習を展開する。			
	事務事業の経緯	子どもまつりは、文化祭の中に子どもの参加するコーナーとしてあった物を独立し、昭和51年から開催している。ふくっ子クラブは、平成8年度から開催。小学3年生公民館体験教室は平成12年から公民館利用団体の協力で開催。はとぼっば教室は3歳児の親子の教室として昭和56年度から開催。			
	事務事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもまつり</li> <li>・ふくっ子クラブ</li> <li>・小学3年生公民館体験教室</li> <li>・はとぼっば教室</li> <li>・家庭教育セミナー</li> </ul>			
	令和元年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもまつりを9月1日に開催。</li> <li>・ふくっ子クラブを5月~2月までの間に全9回開催。（10月の遠足は台風の影響により中止。）</li> <li>・小学3年生体験教室を5月7、8、9日の3日間開催。</li> <li>・はとぼっば教室を春、秋の2期、各6回開催。</li> <li>・家庭教育セミナーを新規に全4回開催。</li> </ul>			

## 2. 事務事業費・人件費

（単位：千円）

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.30	0.30	0.30
		人件費	2,429	2,394	2,394
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.80	0.70
	人件費	0	1,063	0	
人件費計		2,429	3,457	2,394	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	17	16	19	
	委託料	274	274	0	
	使用料及び賃借料	0	0	11	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費	567	536	584		
支出合計		3,288	3,220	3,008	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		3,288	3,220	3,008	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		29	28	26	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

### 3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	事業応募率（ふくっ子クラブ事業応募率）		
	説明	受講者のニーズに合致した魅力的な内容であれば、応募率も高くなる。受講者の満足度につながるため成果指標とした。		
成果	単位	%		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	100	100	100
	実績値	208	169	
指標 2	指標名	事業応募率（はとぼっば教室事業応募率）		
	説明	受講者のニーズに合致した魅力的な内容であれば、応募率も高くなる。受講者の満足度につながるため成果指標とした。		
成果	単位	%		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	100	100	100
	実績値	80	80	
指標 3	指標名	教室開催回数		
	説明	教室の実施回数。		
成果	単位	回		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	25	25	28
	実績値	31	29	

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	<p>(1)子どもまつり 9月1日に開催。2,807人来場。 子どもの遊びの文化を育むこと、郷土を愛する気持ちを養い、子どもの地域生活を豊かにすることを目的に実施し、遊びのコーナーやステージ発表、模擬店の出店などで多くの方が来館していただくことができた。</p> <p>(2)ふくっ子クラブ 5月～2月までの間に全9回（10月の遠足は台風の影響により中止。）開催し、延べ293人参加。小学1～6年生による異年齢集団による活動を行い、様々な遊びや活動を通して仲間を大切に、尊重し合える人間関係を作ること目的とした事業を展開することができた。</p> <p>(3)小学3年生体験教室 5月7、8、9日の3日間開催し、協力18団体、265人の児童が参加。 公民館利用サークルの協力の下、公民館での活動を一緒に体験することで、地域での学習や文化活動さらに地域の人々との触れ合いを感じていただくことができた。</p> <p>(4)はとぼっば教室 春、秋の2期、各6回開催し、延べ272人参加。 3歳児を対象に遊びをとおして親子の触れ合いを身に付け、生き生きと育児・生活をしようという家庭教育教室を行った。また、参加者同士のつながりもあり、子育てにをしている者同士の仲間作りにも寄与できた。</p> <p>(5)家庭教育セミナー 新規に開催。全4回、10人が参加。 今年度開始した事業であり、小学校入学前の親を対象に実施したが、参加者が少なかった。これは、開催時期によるものが主な要因と考えられる。就学前の大事な事業として、来年度も継続して実施をしていきたい。</p>
--------------	--

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	生涯学習の一環として、事業展開をしているが、社会ニーズに即した事業の展開を検討する必要がある。また、それぞれの事業において、タイムリーな時期での開催について、検討していくことが必要。
中長期的方向性	
継続	

# 令和元年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名		市民文化祭事業（かみふくおか会場）		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	09 教育 ～地域の絆で育む学びのまち～			
	施策	38 社会教育 - 温もりある人と地域を育む学びを推進します -			
予算費目		一般会計 10教育費 04社会教育費 03公民館費			
所管部課		教育部 上福岡公民館		評価責任者	内田 徳子
事務事業期間		平成17年度～		評価日	令和2年7月1日
個別計画 根拠法令・条例等		社会教育法、ふじみ野市教育振興基本計画アクションプラン、ふじみ野市文化・スポーツ振興条例			
事務事業の内容	事務事業の目的	団体、サークルや市民個人をも含め学習活動の成果発表の場として、また、市民の手作りによる優れた作品や芸術の鑑賞の場として、文化活動の中心となるものである。			
	事務事業の経緯	昭和37年から続けられてきた市民文化祭は実行委員会を組織し実施されており、合併時の平成17年は第1回ふじみ野市文化祭として行われたが、平成18年からは[おい会場]、[かみふくおか会場]として実施されてきた。令和2年度から上福岡公民館が、令和3年度から大井中央公民館が工事のため使用できなくなるため、実行委員会を統合する検討委員会を立ち上げ、準備を開始した。			
	事務事業の概要	公民館等の全施設を活用し、作品展示・芸能発表・音楽祭・講演などの発表を実施。			
	令和元年度の主な取組	10月21日から11月4日までの間、ふじみ野市民文化祭[かみふくおか会場]を上福岡西公民館と共同で開催した。			

## 2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.30	0.30	0.30
		人件費	2,429	2,394	2,394
	再任用職員	従事人数(人)	0.20	0.20	0.20
		人件費	737	769	769
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		3,166	3,163	3,163	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	0	0	0	
	委託料	1,600	1,492	0	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費	0	0	0	
支出合計		4,766	4,655	3,163	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	1,600	0	0
一般財源		3,166	4,655	3,163	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		28	41	27	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

### 3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	市民文化祭参加団体数		
	説明	文化祭に参加した団体数。		
活動	単位	団体		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	120	120	120
	実績値	100	108	
指標 2	指標名	市民文化祭入場者数		
	説明	文化祭開催期間に来場した人数。		
成果	単位	人（累計）		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	6,000	6,000	6,000
	実績値	6,249	5,280	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>ふじみ野市民文化祭 [かみふくおか会場] として、ミュージックフェスタ・作品展示・お茶席・芸能発表（カラオケ・邦舞・洋舞）を行い、特設会場として前回から開催している手工芸品バザーを今回も実施した。今回は、台風の影響による大雨により、上福岡公民館が水害避難所を開設するという緊急事態の中で、お茶席が中止、バザー出店数が半減し、参加者が大幅な減少となった。しかし、西公民館では、新規に1日だけの「お茶席」が開催できたことは、大きな成果であった。全体の参加団体数は、昨年度比10%の増加、参加者数では16%の減少となった。</p>
------------------	---

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	<p>一般市民及び公民館活動サークルが普段の活動の発表の場として、文化祭への参加をすることを目標に活動するとともに、見に来た人たちが興味を持ち、サークルに入り活動をするなどして文化の発展に寄与することができることから今後も継続して実施をすることが必要である。</p> <p>その他、令和2年度から上福岡公民館の大規模改修、令和3年度からの大井中央公民館の工事等の関係、ホール施設が数年にわたり使用制限の状況が見込まれる中、ふじみ野市全体の市民文化祭の実施が求められている。そのような状況の中、おおい会場、かみふくおか会場を統合した運営が求められるので、実行委員会を統一し、連盟化の促進を図りながらの継続を図る。</p>
中長期的方向性	
継続	

# 令和元年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名		高齢者教育事業（上福岡）	前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト				
施策体系	分野	09 教育 ~地域の絆で育む学びのまち~		
	施策	38 社会教育 - 温もりある人と地域を育む学びを推進します -		
予算費目		一般会計 10教育費 04社会教育費 03公民館費		
所管部課		教育部 上福岡公民館	評価責任者	内田 徳子
事務事業期間		平成18年度~	評価日	令和2年7月1日
個別計画 根拠法令・条例等		社会教育法、ふじみ野市教育振興基本計画アクションプラン、ふじみ野市文化・スポーツ振興条例		
事務事業の内容	事務事業の目的	高齢者に公民館事業を通じて、学習の機会を提供し、高齢者の生涯学習を支援する。		
	事務事業の経緯	これまで、大井中央公民館と上福岡公民館で「もくせい大学」・「ことぶき大学」をそれぞれ実施していたが、平成30年度に3館合同で準備委員会を設立し、事業を一本化し、内容を見直したうえで、令和元年度から3館合同の高齢者大学「昭和100年大学」を開講することとなった。		
	事務事業の概要	高齢者がいつまでも元気に社会参加し、豊かな人生を送ることができるよう幅広い学習の場を提供するとともに、その学習の成果を社会や地域に活かす事ができるように公民館が一本化して支援して行く。大井中央公民館がくらしの生活学部（くらし学科・生活の知識学科）上福岡公民館が元気健康学部（健康のための教養学科・健康のための体育学科・健康のための声楽学科）上福岡西公民館がくらしの中の芸術学部（くらしの中の陶芸学科・くらしの中の美術学科）をそれぞれ年間を通して開講している。また、各学部年2回「昭和100年大学」の受講生並びに市内在住在勤者を対象に合同公開講座を開講している。		
	令和元年度の主な取組	元気健康学部 健康のための教養学科・健康のための体育学科・健康のための声楽学科を5月～12月に毎月1回（7月、8月は除く）開設し、18回の事業を実施した。3月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。合同公開講座を7月・2月（年2回）に開催した。		

## 2. 事務事業費・人件費

（単位：千円）

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.30	1.30	0.30
		人件費	2,429	10,372	2,394
	再任用職員	従事人数(人)	0.30	0.30	0.30
		人件費	1,105	1,154	1,154
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.12
	人件費	0	0	0	
人件費計		3,534	11,526	3,548	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	18	23	24	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	1	6	35	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費	190	273	340		
支出合計		3,744	11,828	3,947	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		3,744	11,828	3,947	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		33	103	34	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

### 3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	講座実施回数		
	説明	昭和100年大学で実施する講座の回数。		
活動	単位	回		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	18	23	23
	実績値	17	20	
指標 2	指標名	応募率		
	説明	受講者のニーズに合致した魅力的な内容であれば、応募率も高くなる。受講者の満足度につながるため成果指標とした。		
活動	単位	%		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	100	100	100
	実績値	110	256	
指標 3	指標名	出席率		
	説明	受講者のニーズに合致した魅力的な内容であれば、出席率も高くなる。受講者の満足度につながるため成果指標とした。（合同・公開講座を除く。）		
活動	単位	%		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	0	80	80
	実績値	0	81	

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	<p>高齢者一人ひとりが生涯にわたって学ぶことにより、豊かな人生を送ることができるよう幅広い学習の場を提供するとともに、その学習の成果を地域づくりに活かすことができるように支援する。</p> <p>(1)昭和100年大学元気健康学部「健康のための教養学科」 月1回第1火曜日午後1時30分～3時30分 定員60名（応募者125人） 5月17日 参加者49人 6月4日 参加者56人 9月3日 参加者47人 10月1日 参加者49人 11月12日 参加者44人 12月3日 参加者46人 3月3日 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 全6回 年間延べ人数291人</p> <p>(2)昭和100年大学元気健康学部「健康のための体育学科」 月1回第2木曜日午後1時30分～3時30分 定員50名（応募者124人） 5月23日 参加者50人 6月13日 参加者44人 9月12日 参加者40人 10月10日 参加者34人 11月14日 参加者26人 12月12日 参加者37人 3月3日 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 全6回 年間延べ人数231人</p> <p>(3)昭和100年大学元気健康学部「健康のための声楽学科」 月1回第3火曜日午後1時30分～3時30分 定員40名（応募者135人） 5月21日 参加者35人 6月18日 参加者33人 9月17日 参加者33人 10月15日 参加者35人 11月19日 参加者35人 12月17日 参加者32人 3月17日 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 全6回 年間延べ人数203人</p> <p>(4)昭和100年大学 合同公開講座 年2回 火曜日 午後1時30分～3時30分 定員598人 7月2日 参加者受講生162人（一般80人）計242人 2月18日 参加者受講生98人（一般49人）計147人</p>
--------------	---

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	人生100年時代に向けた豊かな生活を送るための学習支援と生活課題解決のための学習をさらに進める必要がある。また、地域や家庭で孤立しないためのコミュニティづくりの構築も併せて進める。
中長期的方向性	
継続	

# 令和元年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名		成人教育事業（上福岡）		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	09 教育 ~地域の絆で育む学びのまち~			
	施策	38 社会教育 - 温もりある人と地域を育む学びを推進します -			
予算費目		一般会計 10教育費 04社会教育費 03公民館費			
所管部課		教育部 上福岡公民館		評価責任者	内田 徳子
事務事業期間		平成17年度~		評価日	令和2年7月1日
個別計画 根拠法令・条例等		社会教育法、ふじみ野市教育振興基本計画アクションプラン、ふじみ野市文化・スポーツ振興条例			
事務事業の内容	事務事業の目的	豊かな地域社会の創造発展を図るため、成人を対象とした生涯学習を展開する。			
	事務事業の経緯	公民館閉館より行われてきた様々な一般向けの講座を成人教育事業として平成21年度から位置づけた。講座内容は年度によって様々である。			
	事務事業の概要	講座の開催 ・成人教育教室（3講座）			
	令和元年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大人のためのお洒落な鍵盤ハーモニカを5月23日から全6回実施。</li> <li>・初めてのフルーツ教室を10月11日から全9回実施。 （大雨及び新型コロナウイルス対応のため一部中止）</li> <li>・人権・平和講座を10月22日から全3回実施</li> </ul>			

## 2. 事務事業費・人件費

（単位：千円）

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.30	0.30	0.30
		人件費	2,429	2,394	2,394
	再任用職員	従事人数(人)	0.20	0.20	0.20
		人件費	737	769	769
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.14	0.00
	人件費	0	186	0	
人件費計		3,166	3,349	3,163	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	26	26	25	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	72	0	3	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費	175	146	180		
支出合計		3,439	3,335	3,371	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		3,439	3,335	3,371	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		30	29	29	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

### 3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	講座実施回数		
	説明	講座の開催回数		
活動	単位	回		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	22	22	22
	実績値	19	18	
指標 2	指標名	講座実施回数		
	説明	平成29年度の目標値は、講座応募率で算定していたが、平成30年度からは講座実施回数を成果指標とした。		
成果	単位	%		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	22	22	22
	実績値	19	18	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	<p>年々公民館利用者が年々減少傾向にあり、さらに固定化、高齢化などの課題を解決するため、日頃公民館を利用したことのない方を対象に事業を展開した。これは、公民館には地域のコミュニティ施設としての機能とまちづくりにつながる地域での必要課題や要求課題についても、学習を通して解決できる人材の育成を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大人のためのお洒落な鍵盤ハーモニカを5月23日から全6回実施。 当初定員16人 応募17人 (106.3%) 定員を17人に拡大して実施。 延べ人数 79人</li> <li>・初めてのフルート教室を10月11日から全9回実施。 定員16人 応募46人 (287.5%) (大雨及び新型コロナウイルス感染拡大防止のため一部中止) 延べ人数 100人</li> <li>・人権・平和講座を10月22日から全3回実施。 定員40人 応募38人 延べ人数66人</li> </ul>
--------------	---

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	世代別にみた学習課題を展開し、新たな公民館利用者を増やすための学習として障がい者や外国人なども含めてその時代の課題や地域課題などに対応した学習を展開する。
中長期的方向性	
継続	

# 令和元年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名		上福岡西公民館管理運営事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	09 教育 ~地域の絆で育む学びのまち~			
	施策	38 社会教育 - 温もりある人と地域を育む学びを推進します -			
予算費目		一般会計 10教育費 04社会教育費 03公民館費			
所管部課		教育部 上福岡西公民館		評価責任者	内田徳子
事務事業期間		平成17年度~		評価日	令和2年7月1日
個別計画 根拠法令・条例等		社会教育法、ふじみ野市立公民館条例、ふじみ野市立公民館条例施行規則、ふじみ野市教育振興基本計画アクションプラン、ふじみ野市文化・スポーツ振興条例			
事務事業の内容	事務事業の目的	市民が充実した環境で安心して学習できる場所を提供するため、施設・設備の安全管理を行う。			
	事務事業の経緯	市民の教養の向上、健康の増進、学術及び文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的として各種の事業を行ううえで、安全で安心して学習できる施設の維持管理・提供に努める。			
	事務事業の概要	生涯学習の場の提供及び施設の維持管理・運営を行う。			
	令和元年度の主な取組	上福岡西公民館は、昭和62年9月に開設され、今年で開館32年を迎える。公民館は、地域住民の交流の場、学習の場として利用できる教育施設である。また、豊かな生活に資するため、様々な講座や催しを開催している。 上福岡西公民館維持管理運営事業では、公民館を市民が充実した環境で安心して学習できる場を提供するため、施設・設備の安全管理を行っている。 平成31年度に実施した施設修繕は下記のとおりである。 * ホール吊物設備ワイヤーロープ修繕、冷却塔電動弁及びVベルト交換修繕、給水ポンプユニット修繕等			

## 2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.50	1.50	1.50
		人件費	12,144	11,967	11,967
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員	従事人数(人)	1.04	1.04	1.04
	人件費	1,678	0	0	
人件費計		13,822	11,967	11,967	
事業費	報酬	0	0	1,919	
	賃金	1,678	1,678	0	
	需用費	14,240	10,865	10,383	
	委託料	17,831	18,943	19,711	
	使用料及び賃借料	390	182	184	
	工事請負費	3,499	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費	2,033	373	397	
支出合計		51,814	44,007	44,561	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	352	312	1,877
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	2,400	0	0
		基金	3,499	0	0
		その他	51	30	45
一般財源		45,512	43,665	42,639	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		398	382	367	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

### 3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	公民館利用者延べ人数		
	説明	公民館を利用した延べ人数。公民館活動や事業など公民館が市民の活動の場となっているかの指標。		
活動	単位	人		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	65,100	65,100	70,000
	実績値	63,051	57,768	
指標 2	指標名	公民館の利用率		
	説明	施設が有効に利用されているかの指標。 ( (利用区分数) ÷ (利用可能区分数) ) × 100		
成果	単位	%		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	55.00	55.00	55.00
	実績値	44.90	39.80	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	令和元年度に実施した施設修繕、備品購入
	<p>* 修繕一覧 エレベーター不具合修繕、屋内消火栓設備修繕、都市ガス警報器取替修繕、玄関前地下式散水栓給水管漏水修繕、コンセント修繕、冷却塔電動弁及びVベルト交換修繕、ホール吊物設備ワイヤーロープ修繕、1階喫茶ぼぼスポットライト増設修繕、散水栓修繕、屋外通気口等修繕、バリカー修繕、駐車場修繕、荷物用エレベーター修繕、給水ポンプユニット修繕</p> <p>* 備品購入 両面回転脚付ホワイトボード</p>

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	開館32年が経過していることから施設の老朽化が進んでいる中、大規模改修も視野に入れながら、施設の維持管理に努め、利用者が安全で安心して活動、学習できる施設を提供する。
中長期的方向性	
継続	

# 令和元年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名		上福岡西公民館分室管理事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	09 教育 ~地域の絆で育む学びのまち~			
	施策	38 社会教育 - 温もりある人と地域を育む学びを推進します -			
予算費目		一般会計 10教育費 04社会教育費 03公民館費			
所管部課		教育部 上福岡西公民館		評価責任者	内田徳子
事務事業期間		平成17年度~		評価日	令和2年7月1日
個別計画 根拠法令・条例等		社会教育法、ふじみ野市立公民館条例、ふじみ野市立公民館条例施行規則、ふじみ野市教育振興基本計画アクションプラン、ふじみ野市文化・スポーツ振興条例			
事務事業の内容	事務事業の目的	市民が充実した環境で安心して学習できる場を提供するために施設・設備の安全管理を行う。			
	事務事業の経緯	上福岡西公民館分室は昭和59年に、市内市民のために、教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的として開館し、現在に至っている。			
	事務事業の概要	生涯学習の場の提供及び施設の維持管理・運営を行う。			
	令和元年度の主な取組	上福岡西公民館分室維持管理事業では、分室を市民が充実した環境で安心して学習できる場を提供するために施設・設備の安全管理を行っている。 令和元年度に実施した修繕は次のとおりである。 * 修繕一覧 置表替え修繕、襖裏面張替え修繕			

## 2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.20	0.20	0.20
		人件費	1,620	1,596	1,596
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		1,620	1,596	1,596	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	446	432	527	
	委託料	328	338	340	
	使用料及び賃借料	7	0	0	
	工事請負費	356	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費	1	2	2	
支出合計		2,758	2,367	2,465	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	21
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	300	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		2,458	2,367	2,444	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		22	21	21	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

### 3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	公民館分室利用者延べ人数		
	説明	分室を利用した延べ人数。分室が市民の活動の場となっているかの指標。 延べ利用者数		
活動	単位	人		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	2,700	2,700	2,700
	実績値	2,250	2,206	
指標 2	指標名	分室利用率		
	説明	地域の公民館分室がどれだけ有効に利用されているの指標。 ( (利用区分数) ÷ (利用可能区分数) ) × 100		
成果	単位	%		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	20.00	20.00	20.00
	実績値	15.30	15.50	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	令和元年度に実施した修繕
	* 修繕一覧 畳表替え修繕 襖裏面張替え修繕

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	施設の維持管理に努め、利用者が安全で安心して活動、学習できる施設を提供する。
中長期的方向性	
継続	

# 令和元年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名		西公民館まつり事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	09 教育 ~地域の絆で育む学びのまち~			
	施策	38 社会教育 - 温もりある人と地域を育む学びを推進します -			
予算費目					
所管部課		教育部 上福岡西公民館		評価責任者	内田徳子
事務事業期間		平成17年度~		評価日	令和2年7月1日
個別計画 根拠法令・条例等					
事務事業の内容	事務事業の目的	地域住民のふれあいの場として 参加団体の連帯及び親睦と交流を図るため 地域に開かれ、親しみのもてる公民館を目指す			
	事務事業の経緯	事業の目的のため西公民館創設以来継続して実施してきている。			
	事務事業の概要	近隣町内会、自治会、商店会、子ども会育成会、西公民館利用者懇談会などに参加を呼びかけ、実行委員会方式により実施している。			
	令和元年度の主な取組	西公民館まつりは開館以来、地域住民のふれあいの場として、参加団体の連帯及び親睦と交流を図るため、地域に開かれ、親しみのもてる公民館をめざすため実施している。 今年は32回目の開催にあたり幅広く参加・協力を呼びかけ、近隣町内会・自治会・商店会・子ども会育成会・上福岡西公民館利用者懇談会をはじめ、図書室やわんぱく教室にも参加していただき、45団体が集まり、実行委員会を組織して開催した。来客者数は、昨年よりも大幅に増加し、3,231人だった。			

## 2. 事務事業費・人件費

(単位:千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.70	0.50	0.70
		人件費	5,668	3,989	5,585
	再任用職員	従事人数(人)	0.20	0.20	0.20
		人件費	737	769	769
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		6,405	4,758	6,354	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	0	0	0	
	委託料	322	322	322	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費	0	0	0		
支出合計		6,727	5,080	6,676	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		6,727	5,080	6,676	
市民1人あたりの負担コスト(単位:円)		59	44	57	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

### 3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	西公民館まつりの参加団体数		
	説明	登録団体に協力を得て実施している。今後も参加協力団体を増やし、団体の連携及び親睦を深めるとともに地域に開かれた公民館を目指していく。		
活動	単位	団体		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	40	43	44
	実績値	42	44	
指標 2	指標名	西公民館まつりの参加者人数		
	説明	多くの市民が開場に訪れ多様な文化活動を体験する事により文化交流が図れるため成果指標とした。令和元年度の参加人数が、平成30年度よりも大幅に増加した理由は、「リピータが増加したこと」「わんぱく教室が本祭に参加したこと」「スタンプラリーを始めて実施したこと」「参加団体が増え、団体の集客力も向上したこと」等が考えられる。		
成果	単位	人		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	1,100	1,200	1,200
	実績値	1,164	3,231	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>西公民館まつりは、昭和62年開館以来、地域住民のふれあいの場として、参加団体の連帯及び親睦と交流を図るため実施している。また、公民館活動を多くの方に知ってもらうとともに、日頃の学習成果や取組みの発表の場、交流の場を提供し、地域の人たちの協力を得て継続している。</p> <p>第32回西公民館まつり 前夜祭 令和元年9月7日（土）午後5時半～午後9時10分 参加人数194人 本祭 令和元年9月8日（日）午前10時～午後2時 参加人数3,037人 合計3,231人</p> <p>前夜祭参加団体16団体（うち個人参加3人）、催事10団体、模擬店バザー11団体、講習展示4団体、図書室1団体、広報サービス2団体の全45団体が参加した。</p>

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	西公民館開館以来、地域住民のふれあいの場、また、公民館利用団体の学習成果発表の場として32回開催されており、今後も地域の人達や団体の協力を得て、継続して行く必要がある。
中長期的方向性	
継続	

# 令和元年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名		成人教育事業（上福岡西）		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	09 教育 ~地域の絆で育む学びのまち~			
	施策	38 社会教育 - 温もりある人と地域を育む学びを推進します -			
予算費目		一般会計 10教育費 04社会教育費 03公民館費			
所管部課		教育部 上福岡西公民館		評価責任者	内田徳子
事務事業期間		平成17年度~		評価日	令和2年7月1日
個別計画 根拠法令・条例等		社会教育法、ふじみ野市教育振興基本計画アクションプラン、ふじみ野市文化・スポーツ振興計画			
事務事業の内容	事務事業の目的	豊かな地域社会の創造発展を図るため、成人を対象とした生涯学習を展開する。			
	事務事業の経緯	昭和62年社会教育施設として西公民館が開設され、市民の生涯学習を進めるため成人を対象とした各種教室等を開催している。			
	事務事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者青年学級「コスモスくらぶ」</li> <li>・地域とそこに暮らす外国人との交流と学習のための「にほんご教室」「にほんごボランティア講座」</li> <li>・子育て世代の仲間づくりの場「家庭教育セミナー」</li> <li>・公民館講座「スマホ教室」「中国語教室」「初心者茶道教室」「フラダンス体験教室」「平和アニメ映画会」</li> <li>・女性セミナー「アロマづくり」「プリザーブドフラワーづくり」「ピラティス」</li> </ul>			
	令和元年度の主な取組	「家庭教育セミナー」として、子育てで忙しいお母さんやお父さんの悩みを少しでも解決できるよう、子ども達の指導等に永年携わってきた講師による音活レクリエーションや親子で楽しめる「映画会」や「人形劇鑑賞会」を開催した。			

## 2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.95	0.45	0.70
		人件費	7,692	3,591	5,585
	再任用職員	従事人数(人)	0.45	0.45	0.45
		人件費	1,657	1,730	1,730
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
	人件費計	9,349	5,321	7,315	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	53	49	53	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	92	97	212	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費	491	470	555		
	支出合計	9,984	5,937	8,135	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
	一般財源	9,984	5,937	8,135	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		87	52	70	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

### 3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	事業実施回数		
	説明	多様な講座が開催されることで、対象者の趣味や生活パターンに応じた受講の機会が増えるため、活動指標とした。		
活動	単位	回		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	135	135	135
	実績値	132	121	
指標 2	指標名	応募率（募集人数/応募者数）		
	説明	受講者のニーズに合致し魅力的な講座であれば応募率も高くなり満足度につながるので成果指標とした。		
活動	単位	%		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	107.00	107.00	107.00
	実績値	85.81	92.36	
指標 3	指標名			
	説明			
活動	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	0	0	0
	実績値	0	0	

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	障がい者青年学級（コスモスクラブ） 10回（延べ 168人） 定員なし
	にほんごボランティア講座 1回 参加者：27人 定員20人 応募27人（135%）
	女性セミナー1講座（延べ 4回）参加者：延べ 46人 定員16人 応募14人（87.5%）
	公民館講座 5講座（延べ 18回）参加者：延べ 276人 （初心者茶道教室4回、中国語講座6回、平和アニメ映画1回、スマホ教室5回、フラダンス教室2回） 定員240人 応募101人（42%）
	家庭教育セミナー4回 参加者：延べ156人 定員169人 応募156人（92.3%）
	にほんご教室 84回 延べ906人 新型コロナウイルス感染拡大防止のため2月～3月活动自粛・中止 定員なし
	にほんごボランティア養成講座 1回 定員20人 応募21人（105%）

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者青年学級は、40歳を越えている仲間も多く、ボランティアスタッフも高齢化のため、今後は新たな仲間の加入者やボランティアスタッフを増員していく。また、障がい者に対する地域理解を深めるため、地域の人たちとの交流を図りながら新たな活動内容を検討していく。</li> <li>子育てへの不安や悩みを抱える若い世代を支援するため、参加者の子どもの一時保育を実施し、親の学習機会や楽しい時間を過ごせる時間と場所を提供し仲間作りが出来るよう努めていく。</li> <li>公民館で活動する団体・サークルの協力を仰ぎながら、地域住民の学習の機会を支援し、さらなる活性化を図るため、今後も事業を開催していく。</li> </ul>
中長期的方向性	
継続	

# 令和元年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名		青少年教育事業（上福岡西）		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	09 教育 ~地域の絆で育む学びのまち~			
	施策	38 社会教育 - 温もりある人と地域を育む学びを推進します -			
予算費目		一般会計 10教育費 04社会教育費 03公民館費			
所管部課		教育部 上福岡西公民館		評価責任者	内田徳子
事務事業期間		平成17年度~		評価日	令和2年7月1日
個別計画 根拠法令・条例等		社会教育法、ふじみ野市教育振興基本計画アクションプラン、ふじみ野市文化・スポーツ振興計画			
事務事業の内容	事務事業の目的	豊かな地域社会の創造発展を図るため、青少年を対象に学習を行う。			
	事務事業の経緯	昭和62年社会教育施設として西公民館が開設されて以来、市民の生涯学習を進めるため、青少年を対象とした各種教室等を開催している。			
	事務事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学1年生から6年生までを対象とした年間事業「わんぱく教室」</li> <li>・公民館利用団体に参加を呼びかけ実施する「小学3年生公民館体験教室」</li> <li>・小学生を対象に多彩な各種教室を展開する「子どもひろば」</li> </ul>			
	令和元年度の主な取組	子どもひろばでは、地元で活躍するオーケストラやピアニストを招いて、コンサートを開催した。特に冬休み子どもひろばでは、子どもたちが舞台上上がって、ピアノの鍵盤の動きを見たり、演奏者とコミュニケーションを取るなど客席と演奏者が一体となってクリスマスファミリーコンサートを楽しんだ。			

## 2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.65	0.35	0.65
		人件費	5,263	2,793	5,186
	再任用職員	従事人数(人)	0.35	0.35	0.35
		人件費	1,289	1,346	1,346
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		6,552	4,139	6,532	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	16	24	26	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	225	232	335	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費	201	204	209		
支出合計		6,994	4,599	7,102	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		6,994	4,599	7,102	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		61	40	61	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

### 3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	事業実施回数		
	説明	教室や内容等、時代のニーズに合致した事業の展開が把握できるため、活動指標とした。		
活動	単位	回		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	17	21	21
	実績値	14	14	
指標 2	指標名	講座参加者人数		
	説明	受講者のニーズに合致し魅力的な講座であれば応募率も高くなり満足度につながるので成果指標とした。		
成果	単位	%		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	98.00	100.00	100.00
	実績値	99.40	88.40	
指標 3	指標名	小学3年生公民館体験教室協力団体数		
	説明	体験教室実施への、西公民館利用団体協力団体数。		
成果	単位	団体		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	18	19	19
	実績値	19	17	

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>わんぱく教室 定員36人 応募38人(105.6%) 8回(延べ 236人)スタッフ30人(延べ 151人)</p> <p>小学3年生公民館体験教室 3校(延べ 254人)さぎの森小学校79人 駒西小87人 西小88人 協力団体 17団体(延べ124人)</p> <p>子どもひろば 定員337人 応募240人(71.2%) 3回(延べ 240人)スタッフ4人</p>

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	各講座共に、公民館と協力スタッフ・公民館利用団体及び地域が一体となり、事業を企画し取り組みを進める。
中長期的方向性	
継続	

# 令和元年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名		上福岡図書館管理運営事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	09 教育 ~地域の絆で育む学びのまち~			
	施策	38 社会教育 - 温もりある人と地域を育む学びを推進します -			
予算費目		一般会計 10教育費 04社会教育費 04図書館費			
所管部課		教育部 大井図書館		評価責任者	永倉秀雄
事務事業期間		平成27年度~		評価日	令和2年7月3日
個別計画 根拠法令・条例等		図書館法、ふじみ野市図書館条例及びふじみ野市図書館条例施行規則、施設設備管理の関連法令			
事務事業の内容	事務事業の目的	上福岡図書館の運営を支えるため施設管理及びモニタリング、指導を行う。			
	事務事業の経緯	昭和53年に市立図書館設置。その後市民の図書館建設運動を経て平成6年現在地に市民要望と意見を取り入れて建設され、平成27年10月から指定管理者制度を導入して運営を行う。			
	事務事業の概要	平成27年度から続けている指定管理者による管理運営を維持・継続する。 平成5年度竣工、平成6年度開館の施設のため、空調機を中心に施設各所に老朽化等による劣化・不具合が生じているため、施設修繕を進める。			
	令和元年度の主な取組	平成27年度から続けている指定管理の契約が令和2年3月31日で終了するので、指定管理者の選定を進める。大井図書館と一括した指定管理に移行する。 全館的な施設修繕が必要なので、計画的な修繕に向けて、令和2年度以降の3か年実施計画にて要求して令和3年度以降の実施を目指す。			

## 2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	2.00	1.00	1.00
		人件費	16,192	7,978	7,978
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	1.00	0.00
		人件費	0	3,844	0
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		16,192	11,822	7,978	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	6,601	5,118	0	
	委託料	136,889	137,611	174,999	
	使用料及び賃借料	583	583	579	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費	253	259	61		
支出合計		160,518	155,393	183,617	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	69	69	68
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	54	49
一般財源		160,449	155,270	183,500	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		1,405	1,357	1,579	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

### 3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	貸出者数		
	説明	資料の貸出利用人数が身近な施設としての事業の成果を示す指標となる。 令和元年度集計が完了して指標数値が確定するのは5月である。		
活動	単位	人		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	163,000	165,000	167,000
	実績値	155,184	141,950	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>1 上福岡図書館管理運営事業について</p> <p>(1)上福岡図書館指定管理実施とモニタリングを行った。</p> <p>(2)令和2年度から4年度における大井図書館との一括した指定管理者の募集と指定管理者を決定した。</p> <p>(3)空調設備・雨漏りなどの施設修繕を行った。</p> <p>(4)集会室等の有料化と一般貸出準備を行った。</p> <p>2 事業の効果について</p> <p>(1)図書館サービスの維持・向上につながった。</p> <p>(2)大井・上福岡両図書館の指定管理移行により民間活力導入の拡大を図ることができた。</p> <p>(3)施設の適切な管理を図ることができた。</p> <p>(4)会議室等の有料貸出開始により負担の公平化と受益者負担を図った。</p> <p>令和2年度の人数については社会教育課と調整中である。</p>
------------------	---

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	<p>ふじみ野市立図書館が「ミッション（使命）」とする「市民の暮らしが豊かになるよう、『知りたい、学びたい、楽しみたい』を支えます」を実現し、地域の情報拠点として市民の学びを支え、市民とともに歩む図書館を目指すために、次の事業が求められている。</p> <p>1 令和2年度から令和4年度までの指定管理者による大井図書館・上福岡図書館を一括した管理運営の実施とモニタリングによる図書館サービスの維持。</p>
中長期的方向性	<p>2 ボランティア・市民と協働した図書館事業の実施。</p> <p>3 小学校配置の学校図書館支援員を活用し、小学校に導入した図書館システムパソコンを活用した図書館サービスの展開を図る。</p>
継続	<p>4 建築後25年以上経過している施設の適切な維持管理を図るために計画的改修を行う。</p>

# 令和元年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名		大井図書館管理運営事業		前年度の方向性	
				継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	09 教育 ~地域の絆で育む学びのまち~			
	施策	38 社会教育 - 温もりある人と地域を育む学びを推進します -			
予算費目					
一般会計 10教育費 04社会教育費 04図書館費					
所管部課		教育部 大井図書館		評価責任者	永倉秀雄
事務事業期間		平成17年度~		評価日	令和2年7月3日
個別計画 根拠法令・条例等					
図書館法、ふじみ野市図書館条例及びふじみ野市図書館条例施行規則、施設設備管理の関連法令					
事務事業の内容	事務事業の目的	生涯学習の中核的施設、ふじみ野市の中央図書館として、幼児から高齢者まで誰もが安全に安心して快適に利用できる環境を確保するとともに、市民の知的財産である図書資料を適切に保管する。また、図書館機能が十分に発揮できるように施設・設備の管理を行い、指定管理運営の施設の管理を行う。			
	事務事業の経緯	大井図書館は、昭和63年7月に町民要望により開館した。建設後27年が経過し、施設が老朽化しているため計画的な修繕等を行う。令和2年度からの指定管理者導入を行う。			
	事務事業の概要	令和2年度から指定管理者による管理運営を導入するとともに、令和5年度開館予定の(仮称)西地域文化施設に移転し、施設の運営を行う。			
	令和元年度の主な取組	(事業内容) 1 図書館協議会を運営する。 2 令和2年度からの上福岡図書館と一括した指定管理者による管理運営を導入する準備を進め、指定管理者の募集・選考を行う。指定管理者を議会で決定し、引継ぎの作業を行う。 3 指定管理に関連する条例・規則の改正などの例規の整備を行う。 4 会議室等の有料貸出・一般開放への準備を行う。 5 既存の大井図書館の管理運営がスムーズに行えるよう建物・機械機器等の維持管理を行う。 6 (仮称)西地域文化施設への移転に向けて要求水準書・管理運営計画作成を行う。			

## 2. 事務事業費・人件費

(単位:千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.00	1.00	1.00
		人件費	8,096	7,978	7,978
	再任用職員	従事人数(人)	1.00	1.00	0.00
		人件費	3,681	3,844	0
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		11,777	11,822	7,978	
事業費	報酬	52	78	107	
	賃金	0	0	0	
	需用費	7,145	5,699	65	
	委託料	8,873	12,525	106,481	
	使用料及び賃借料	6,452	7,597	9,051	
	工事請負費	10,511	0	0	
	負担金、補助及び交付金	47	47	0	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費	726	537	70	
支出合計		45,582	38,304	123,752	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	10,511	0	0
		その他	112	246	0
一般財源		34,959	38,058	123,752	
市民1人あたりの負担コスト(単位:円)		306	333	1,065	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

### 3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	貸出者数		
	説明	資料の貸出利用人数が施設としての事業の成果を示す指標となる。 令和元年度集計が完了して指標数値が確定するのは5月である。		
活動	単位	人		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	80,000	81,000	82,000
	実績値	77,875	73,023	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	1 実績について
	<p>(1) 図書館協議会会議を4回開催し、</p> <p>(2) 指定管理への移行(令和2年度～4年度)を図った。 令和2年度からの上福岡図書館と一括した指定管理者による管理運営を導入する準備を進め、指定管理者の募集・選考を行う。 指定管理者を議会で決定し、引継ぎの作業を行った。 指定管理に関連する条例・規則の改正などの例規の整備を行う。</p> <p>(3) 新規パソコンを全小中学校に導入した。</p> <p>(4) 施設管理 既存の大井図書館の管理運営がスムーズに行えるよう建物・機械機器等の維持管理を行った。 会議室等の有料貸出・一般開放への準備(システム整備・説明会など)を行う。</p> <p>(5) (仮称)西地域文化施設への移転に向けて要求水準書・管理運営計画作成に参加した。</p>
	2 事業の効果について
	<p>(1) 図書館協議会を開催し、図書館サービスの向上と今後の図書館運営の計画策定を図れた。</p> <p>(2) 大井・上福岡両図書館の指定管理移行により民間活力導入の拡大を図ることができた。</p> <p>(3) 図書館と小中学校を結ぶ新たな図書館サービスを展開できるようになった。</p> <p>(4) 施設の適切な管理を図ることができた。</p> <p>(5) 会議室等の有料貸出開始により負担の公平化と受益者負担を図った。</p> <p>(6) (仮称)西地域文化施設への移転の準備を行うことができた。 令和2年度の人数については社会教育課と調整中である。</p>

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	ふじみ野市立図書館が「ミッション(使命)」とする「市民の暮らしが豊かになるよう、『知りたい、学びたい、楽しみたい』を支えます」を実現し、地域の情報拠点として市民の学びを支え、市民とともに歩む図書館を目指すために、次の事業が求められています。
中長期的方向性	1 令和2年度から令和4年度までの指定管理者による大井図書館・上福岡図書館を一括した管理運営の実施とモニタリングによる図書館サービスの維持。
継続	2 ボランティア・市民と協働した図書館事業の実施。
	3 小中学校に導入した図書館システムパソコンを活用した図書館サービスの展開
	4 建築後30年以上経過していることから、既存の大井図書館の管理運営がスムーズに行えるよう建物・機械機器等の維持管理を行う。
	5 (仮称)西地域文化施設への移転に向けて移転の準備を行う。

# 令和元年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名		大井図書館奉仕事業		前年度の方向性 継続	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	09 教育 ~地域の絆で育む学びのまち~			
	施策	38 社会教育 - 温もりある人と地域を育む学びを推進します -			
予算費目					
一般会計 10教育費 04社会教育費 04図書館費					
所管部課		教育部 大井図書館		評価責任者	永倉秀雄
事務事業期間		平成17年度~		評価日	令和2年7月3日
個別計画 根拠法令・条例等					
図書館法、ふじみ野市図書館条例及びふじみ野市図書館条例施行規則、施設設備管理の関連法令					
事務事業の内容	事務事業の目的	市民の教養と文化発展のため、また、市民が必要とする資料及び情報を提供するため、図書館資料の収集を行い利用者に提供する。各種事業により学習の機会を提供する。			
	事務事業の経緯	昭和48年、大井町立図書館設置条例制定。公民館や公民館分館で貸出を行ってきた。昭和63年7月、現在の施設が開館した。			
	事務事業の概要	1 図書資料の貸出、返却、配架。予約受付、調査相談業務。図書資料等の選定、購入、受入れ、保存、除籍。集会事業、相互貸借、障がい者サービス、テーマ展示を行う。 2 上福岡図書館の指定管理運営に伴い、大井図書館がモニタリング・指導を行う。 3 令和2年度からの指定管理者導入に向けた準備を行う。			
	令和元年度の主な取組	1 図書資料の貸出、返却、配架。予約受付、調査相談業務。図書資料等の選定、購入、受入れ、保存、除籍。集会事業、相互貸借、障がい者サービス、テーマ展示を行った。 2 第三次ふじみ野市子ども読書活動推進計画を策定した。 3 第三次ふじみ野市立図書館サービス計画を策定した。 4 上福岡図書館の指定管理運営のモニタリングのため、毎月1回定期的に調整会議を行った。 5 令和2年度からの指定管理者導入に向けた準備を行った。			

## 2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	4.48	5.00	0.00
		人件費	36,271	39,890	0
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員	従事人数(人)	9.92	8.79	0.00
	人件費	13,071	14,263	0	
人件費計		49,342	54,153	0	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	12,688	13,838	0	
	需用費	1,390	1,412	0	
	委託料	80	80	0	
	使用料及び賃借料	151	178	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費	1,152	1,255	0	
支出合計		51,732	56,654	0	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	180	183	0
一般財源		51,552	56,471	0	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		451	494	0	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

### 3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	貸出資料数		
	説明	資料の貸出延総数が施設の利用度を示す指標となる。 令和元年度集計が完了して指標数値が確定するのは5月である。		
活動	単位	点		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	334,000	335,000	336,000
	実績値	328,049	307,805	
指標 2	指標名	予約件数		
	説明	資料の予約件数が施設活用度を示す指標となる。 令和元年度集計が完了して指標数値が確定するのは5月である。		
活動	単位	件		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	53,000	54,000	55,000
	実績値	49,735	49,193	
指標 3	指標名	蔵書点数		
	説明	蔵書点数が施設の規模や利用促進のための指標となる。 令和元年度集計が完了して指標数値が確定するのは5月である。		
活動	単位	点		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	171,700	172,000	172,300
	実績値	176,620	0	

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	1 事業の内容	(1) 図書館資料の選書、収集、貸出、読書支援、調査相談、ボランティア育成、地域文庫運営などの業務を実施した。 (2) 令和2年度からの指定管理移行に備えて仕様書の作成をした。 (3) 令和5年度オープン（仮称）西地域文化施設の図書館サービスの準備を行った。
	2 事業の効果	(1) おはなし会などの読書支援や子ども映画会の実施により若年層の利用者や、情報支援として整備したパソコンの利用においてはパソコン教室の実施などにより高齢者の利用も増加しており、館内利用の増加につなげることができた。 (2) 指定管理移行の準備を行うことができた。 (3) （仮称）西地域文化施設の要求水準書・管理運営計画の策定につなげ、大井図書館の移転の準備を進めることができた。

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
統合	大井図書館奉仕事業は、令和2年度以降は指定管理者の図書館サービスとして、大井図書館管理運営事業に統合して実施される。指定管理者の運営への全面移行後も、モニタリングを通じて、図書館資料の選書、収集、貸出、読書支援、調査相談、ボランティア育成、地域文庫運営などの業務を継続し、地域に根付く身近な図書館として運営を行うように図る。
中長期的方向性	
統合	

# 令和元年度事務事業評価シート

## 1. 事務事業の概要

事務事業名		高齢者教育事業（上福岡西）		前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト					
施策体系	分野	09 教育 ~地域の絆で育む学びのまち~			
	施策	38 社会教育 - 温もりある人と地域を育む学びを推進します -			
予算費目		一般会計 10教育費 04社会教育費 03公民館費			
所管部課		教育部 上福岡西公民館		評価責任者	内田徳子
事務事業期間		平成31年~		評価日	令和2年7月1日
個別計画 根拠法令・条例等		社会教育法、ふじみ野市教育振興基本計画アクションプラン、ふじみ野市文化・スポーツ振興条例			
事務事業の内容	事務事業の目的	高齢者に公民館事業を通じて、学習の機会を提供し、生涯学習を支援する。			
	事務事業の経緯	これまで、大井中央公民館と上福岡公民館で「もくせい大学」・「ことぶき大学」をそれぞれ実施していたが、平成30年度に3館合同で準備委員会を設立し、事業を一本化し、内容を見直したうえで、令和元年度から3館合同の高齢者大学「昭和100年大学」を開講することとなった。			
	事務事業の概要	高齢者がいつまでも元気に社会参加し、豊かな人生を送ることができるよう幅広い学習の場を提供するとともに、その学習の成果を社会や地域に活かす事ができるように公民館が一本化して支援していく。大井中央公民館がくらしの生活学部（くらし学科・生活の知識学科） 上福岡公民館が元気健康学部（健康のための教養学科・健康のための体育学科・健康のための声楽学科） 上福岡西公民館がくらしの中の芸術学部（くらしの中の陶芸学科・くらしの中の美術学科）をそれぞれ年間を通して開講している。また、各学部年2回の「昭和100年大学」の受講生並びに市内在住者を対象に合同公開講座を開講している。			
	令和元年度の主な取組	くらしの中の芸術学部 くらしの中の陶芸学科・くらしの中の美術学科を5月から2月に毎月1回（8月は除く）を開講し、14回の事業を実施した。3月は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。 合同公開講座を7月と2月に2回開催した。			

## 2. 事務事業費・人件費

（単位：千円）

【支出】		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.00	0.20	0.25
		人件費	0	1,596	1,995
	再任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
		人件費	0	0	0
	会計年度任用職員	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
	人件費	0	0	0	
人件費計		0	1,596	1,995	
事業費	報酬	0	0	0	
	賃金	0	0	0	
	需用費	0	45	48	
	委託料	0	0	0	
	使用料及び賃借料	0	0	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
	その他事業費	0	201	282	
支出合計		0	1,842	2,325	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	0	0	0
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	0	0
		基金	0	0	0
		その他	0	0	0
一般財源		0	1,842	2,325	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		0	16	20	

報酬、賃金には、臨時・嘱託職員の人件費も含まれています。

### 3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	上福岡西公民館で開催する講座への出席率		
	説明	受講生のニーズに合致した魅力的な講義内容であれば出席率が高くなる。		
活動	単位	%		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	0.00	80.00	80.00
	実績値	0.00	81.10	
指標 2	指標名	応募率		
	説明	受講者のニーズに合致した魅力的な内容であれば、応募率も高くなり、受講者の満足度につながる。		
活動	単位	%		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値	0.00	100.00	100.00
	実績値	0.00	126.90	
指標 3	指標名			
	説明			
活動	単位	%		
	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	目標値			
	実績値			

### 4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	昭和100年大学 暮らしの中の芸術学部	陶芸学科 定員16人(応募者29人)	美術学科 定員17人(応募者27人)	合計33人(応募56人)
	5/22 出席14人	5/29 出席16人	6/19 出席15人	7/17 出席9人(公開講座)
	6/5 出席16人	6/19 出席15人	7/17 出席9人(公開講座)	9/18 出席15人
	6/12 出席15人	7/17 出席9人(公開講座)	9/18 出席15人	10/16 出席13人
	7/17 出席15人(公開講座)	9/18 出席15人	10/16 出席13人	11/20 出席15人
	9/25 出席15人	10/16 出席13人	11/20 出席15人	12/18 出席15人
	10/30 出席15人	11/20 出席15人	12/18 出席15人	1/15 出席14人
	11/6 出席16人	12/18 出席15人	1/15 出席14人	2/19 出席3人(公開講座)
	12/4 出席12人	1/15 出席14人	2/19 出席3人(公開講座)	3/18 中止(新型コロナ拡大防止)
	2/19 出席8人(公開講座)	2/19 出席3人(公開講座)	3/18 中止(新型コロナ拡大防止)	
	3/4 中止(新型コロナ拡大防止)	3/18 中止(新型コロナ拡大防止)		
	全9回 延べ計126人(応募延べ144人)	全9回 延べ計115人(応募延べ153人)		
	暮らしの中の芸術学部 合計延べ241人	(応募延べ297人)	応募率81.1%	
	公開講座のアンケート結果	非常に良かった 63%	良かった 32%	普通 5%
	あまり良くなかった 0%	良くなかった 0%		

### 5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
継続	高齢者社会が進む中で、高齢者一人ひとりが生涯にわたって学び、自己の知識や人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、学習の場を提供し、また、その学習の成果を適切に地域づくりに活かすことができるよう支援するため、今後も継続して行く必要がある。
中長期的方向性	
継続	